

2020年度

事業報告書

2020（令和2）年4月1日

{

2021（令和3）年3月31日

公益社団法人 札幌聴覚障害者協会
〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-358
札幌市視聴覚障がい者情報センター内
TEL : 011-642-8010 • FAX : 011-642-8377
メール : houjinjimukyoku@sadeaf.jp

【2020年度事業実施報告】

(法人の目的と事業活動)

当法人は、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深め、その社会参加を促進するため、聴覚障害者の福祉の増進に関する事業を行ない、もって社会福祉の発展に寄与することを目的とし、定款に掲げる次の事業を行なった。

- (1) 聴覚障害者の福祉向上に関する事業
- (2) 聴覚障害者の生活相談及び生活支援に関する事業
- (3) 聴覚障害者の社会啓発運動に関する事業
- (4) 聴覚障害者の広報・啓発に関する事業
- (5) 聴覚障害者の福祉の増進のための調査及び研究に関する事業
- (6) 聴覚障害者の文化教養・スポーツに関する事業
- (7) 手話通訳者養成事業
- (8) 手話通訳者派遣事業
- (9) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス事業
- (10) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域活動支援センター事業
- (11) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく移動支援事業
- (12) 介護保険法に基づく居宅介護サービス事業及び介護予防サービス事業
- (13) 介護保険法に基づく地域密着型サービス事業及び地域密着型介護予防サービス事業
- (14) 介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業
- (15) サービス付き高齢者向け住宅事業
- (16) 聴覚障害者の厚生福利及び相互親睦に関する事業
- (17) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(事業面の特徴的なこと)

1. 全事業所でコロナ禍による感染防止の徹底を図りました。一時的休止、時短対応、オンライン対応など各事業所職員の努力、利用者、市民の協力もあり、おおむね事業は実施できました。
2. 全事業で職員の確保、資質向上、待遇面の改善、利用者の確保は、引き続き課題です。人材確保は事業説明会の開催で確保を図り、資質向上は研修会の開催により、待遇面は必要に応じて見直しを図り、安定運営のための利用者確保も各事業所で努力をしています。

3. 聴覚障がい児童分野の事業は、市内にある既存の聴覚障がい児・生徒を対象とする事業所との連携を図っていきます。
4. コロナ禍で中止となった事業が増えたことで、収益事業、自主事業は減収となりコロナ禍による国の借入金を申請する状況となりました。
5. 会議や研修などは、感染防止策を図りながらこれまでの対面とオンラインによる使い分けが普及してきました。感染症対策や遠距離、交通不便な場合にもオンラインは有効な方法ですが、情報通信機器の所持の有無、通信の乱れ、使い方習熟の課題もあり、一日も早いコロナ終息が全事業の安定と継続の大前提です。
6. 詳細な報告は、各事業の報告に委ねます。

(運動面の特徴的なこと)

1. 一般財団法人全日本ろうあ連盟

<https://www.jfd.or.jp/>

- ① 新型コロナウイルス危機管理対策本部～コロナに関する情報、手話対応ができるようになっています。
- ② 旧優生保護法に関する取り組み、優生思想の問題が掲載されています。
- ③ 宿泊施設関係者の皆さまへ（テレビ字幕表示のお願い）が掲載され、合理的配慮を要請しています。

2. 公益社団法人北海道ろうあ連盟

<https://www.normanet.ne.jp/~h-f-deaf/>

- ① 手話言語条例制定自治体の広がりがわかります。
- ② 北ろう連主催行事・研修会等の開催状況が掲載されています。
- ③ 出版案内が掲載されています。

3. 公益社団法人札幌聴覚障害者協会

<http://sapporo-deaf.jp/>

- ① 交流、学ぶ、働く、手話通訳、暮らす、知る の各分野に関する情報が掲載されています。
- ② 情報通信機器の普及、携帯化によりスマホやパソコンなどで動向が簡単に入手できるようになっています。最近の動きや情報をホームページで確認し、活動や学習に積極的に活用していきましょう。

【公益目的事業】

【公1】手話通訳者派遣・手話普及事業

I 手話通訳者の派遣・認定・研修

手話の普及並びに手話通訳者の認定・登録・更新と、聴覚障害者に対する理解を深め、聴覚障害者と聞こえる人の円滑なコミュニケーションを目的とし、依頼に応じて手話通訳者を派遣した。

1. 手話通訳者派遣事業の実施（札幌市委託事業）

ろう者等と聞こえる人との意思の疎通を円滑にするため、手話通訳者を必要とする場合に派遣した。

期 間：2020年4月～2021年3月（年間）

場 所：原則として札幌市内

受 付：手話通訳者派遣室

（1）派遣事業の実績及び近況報告 4,236件+2,203件 = 総件数 6,966件

年度	2019年度 4,648件				2020年度 3,930件							
	区分 依頼 件数	派遣人数			派 遣 時 間	派遣人数			派 遣 時 間	取 り 消 し	確 保 不 可	
		計	専通	登通		計	専通	登通				
医療・保健	3,256	2,946	940	2,006	3614: :43	3,156	2,846	1,188	1,658	3431: :11	276	111
(内、介護保険)	454	438	173	265	432: 05	486	450	208	242	414: 57	36	15
司法	95	92	82	10	95: 50	94	88	79	9	96: 50	17	1
教育・保育	170	177	65	112	260: 45	89	81	36	45	87: 45	11	4
労働・雇用	172	183	79	104	231: 55	81	73	38	35	82: 30	18	4
地域・住宅	39	38	6	32	43: 25	46	44	17	27	38: 43	3	2
人間関係	43	31	10	21	49: 55	13	9	3	6	16: 00	5	0
文化・教養	122	209	40	169	589: 30	48	31	7	24	90: 35	30	4
社会生活	403	418	169	249	662: 20	338	310	172	138	396: 30	52	31
その他	463	554	551	3	288: 30	371	448	448	0	222: 00	3	0
(来所者)	414	414	414			341	341	341				
(電話通訳)	481	481	481			416	416	416				
(TV電話)	109	109	109			114	114	114				
(FAX対応他)	188	188	188			205	205	205				
合 計	4,763	4,648	1,942	2,706	5836: :53	4,236	3,930	1,988	1,942	4462: :04	415	157

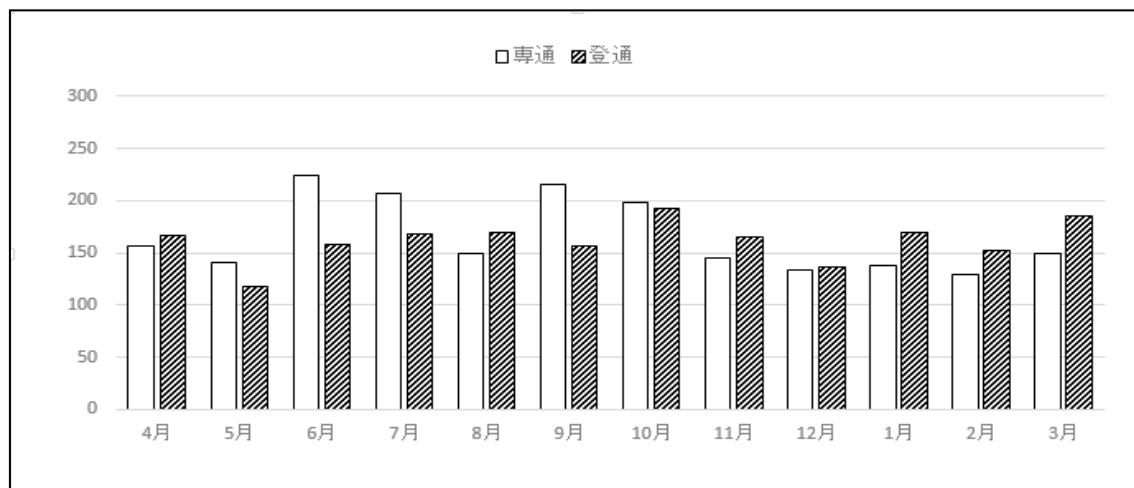
※介護保険の内容：認定調査・ケアマネジャーモニタリング・訪問看護
往診・担当者会議 他

※「その他」は来所対応が15分を超えた時には、依頼件数に含めている。それ以外は下記の通り。

※別表参照

区分	来所者	電話通訳	TV電話	FAX対応他	合計
2019年度	682	190	558	780	2210
2020年度	568	103	703	739	2203

(2) 毎月の派遣件数の比較（専従手話通訳者&登録手話通訳者）



(3) 札幌市手話通訳者状況報告（2021年3月31日現在）

専従手話通訳者 10名 登録手話通訳者 58名

※資格取得状況（専通・登通含む）

手話通訳士 34名 統一試験（手話通訳者）50名

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

- (1) 『札幌市手話通訳者派遣事業実施要綱』は、2019 年に続き、2020 年度（2021 年 1 月 12 日付）に一部改正となった。全国に新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染症対策（災害時含む）としても「遠隔手話通訳サービス」の導入が実施され、従来の通訳現場への派遣（対面）に加えて、タブレット端末を貸出しして、派遣室より遠隔にて通訳保障をすることが可能となった。事業の周知が充分でなく、今後、学習を深めて実績を検証していきたい。市保健所（コロナ感染症担当）には、緊急時用として課長の業務用携帯番号を伝えている。
- (2) 2020 年度は緊急事態宣言やコロナ禍の中、公共施設の休館、病院の外来・検査の取消や延期、運転免許証の更新延期等の影響もあり、全体派遣数は約 700 件減少となった。6 月以降より、徐々に申請が増え始め、生命・医療分野（介護保険関係）については通常に戻ったが、入院や手術等の重篤化や継続性がある場面は、専従手話通訳者の対応とした。特に、ろう盲者の入院時には、病院と連携して必要時に派遣し、家族面会も要請する中で実現した。広域（道外）は不要不急の外出自粛や現地の事業体が稼働できる通訳者がいないと断られることもあった。

- (3) 手話通訳者が稼働することへの不安を回避するために、市及び当協会登録手話通訳者に対する説明会（通訳上の留意点・自己チェックシート等）を開催し、透明マスクの配付等感染予防について確認をした。
- (4) 厚生労働省「令和2年障害者総合福祉推進事業」の補助金を受けて、雇用された手話通訳者の労働と健康についての実態調査（全国手話通訳問題研究会他）が実施され、職員は調査票の協力をした。結果は調査研究報告書が送付され、全国の課題が明らかとなった。
- (5) 司法分野では、2018年度から優生保護法被害者弁護団の働きかけによる結果、傍聴時への情報保障を継続し一審の判決を終えた。高齢ろう者対象の成年後見人制度の活用に伴い、家庭裁判所調査官や弁護士と調整する中、通訳保障を担当した。また、家事や民事の申請については、書記官との連携も増えた。
- (6) コーディネート業務は、申請内容を把握し対象者の理解力を配慮、関係機関と連携等、社会資源を作ることが重要である。そのためには通訳行為＝コーディネート業務が可能ともならず、日常業務を通して、社会福祉援助技術の視点を磨き、質の向上に努めている。

2. 手話通訳者認定・登録・更新の実施

(1) 一次試験（手話通訳者全国統一試験）の実施

手話通訳者として必要な知識及び技能を審査するため、筆記及び実技試験の問題・採点基準及び具体的な実施方法などについて、全国手話研修センターから提供を受け、手話通訳者全国統一試験を実施した。

期日：2020年12月5日（土）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2018年度以前の手話通訳者養成課程修了者、2019年度手話通訳者養成講座受講生修了見込者、2020年度手話通訳者養成講座受講生（再受講生）または、手話通訳者養成課程修了者と同等の知識及び技術を有する者

※合格発表：2021年3月1日（月）

(2) 二次試験（面接試験）

札幌市登録手話通訳者を認定するための面接試験を実施

期日：2021年3月20日（土）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2020年度一次試験（手話通訳者全国統一試験）合格者及び手話通訳者全国統一試験又は手話通訳士試験の合格者

＜登録申込状況＞

（単位：名）

区分	2020年度合格者	市外より転入	在札有資格者
統一試験	2	1	1
手話通訳士	試験実施されず	0	1※統一試験も保持
合計	2	1	2

※2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、手話通訳士試験は中止

<受験者及び合格者状況>

(単位:名)

区分	2019年度				区分	2020年度			
	申込者数	受験者数	合格者数	合格率		申込数	受験者数	合格者数	合格率
2019年度 養成講座受講者	13	13	2	15.4%	2020年度 養成講座受講生	1	1	0	0%
2018年度 養成講座修了者	4	4	2	50%	2019年度 養成講座修了者	13	12	1	8.3%
2017年度以前 養成講座修了者	8	8	1	12.5%	2018年度以前 養成講座修了者	14	14	1	7.1%
その他	1	1	0	0%	その他	1	0	0	0%
合 計	26	26	5	19.2%	合 計	29	27	2	7.4%

(3) 登録手話通訳者状況 (2021年3月31日現在) (単位:名)

項目	年 度		
	2018	2019	2020
登録手話通訳者数	57	55	58
常勤・非常勤の仕事あり	39	36	33
通訳者自身の病気療養(育児・家族の介護)あり	28	26	30
平日の日中活動可能	10	17	15

【手話通訳者養成等運営会議(派遣)】

- (1) 登通58名中、稼働については年間休止及びコロナ禍の休止希望者、他は体調や仕事、介護等が理由の方を含めて30名が休止状態である。稼働は登通が当協会と契約している方の稼働率が多く、登通全体派遣件数の約60%を占めている。
- (2) 登通からは感染予防の不安より、公共機関の移動やタクシー利用、通勤時間帯の混雑、コロナ感染者の発生した病院へは遠慮したい等、意見が寄せられている。申請内容と登通の医療補償の不十分な中、不安を配慮すると通訳者の決定も慎重になり、派遣調整が困難となつた。
- (3) 新登通は一部を除いて、稼働する場面がなく研修会の配慮にとどまつた。他、通訳現場の混乱状態を配慮すると登通3年未満の方も依頼を控えるようにした。

3. 札幌市・札聴協手話通訳者現任研修会の開催

2015年度より、札幌市手話通訳者と札聴協手話通訳者合同の現任研修会とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換などを行なうため研修会を開催した。

期 間：2020年4月～2021年3月(全27回) 内訳 市のみ(新登録手話通訳者対象3回) 協会のみ(研修2回) を含む。

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：札幌市専従手話通訳者・札幌市登録手話通訳者・札聴協登録手話通訳者

講 師：基本的には専通が担当。

(内、◆合同(市・札聴協)の研修、◇札聴協のみの研修)

研 修 内 容	月 日	出席者数
1) 札幌市・札聴協手話通訳者派遣事業に関する説明会◆	2020年 4月3日	40名

【公益社団法人札幌聴覚障害者協会 2020年度事業報告書】

2) 手話通訳に必要な現場対応力を考える	◆	5月12日	中止
3) 事例研修①② …通訳者の役割を考える	◆	6月22日 30日	中止
4) ロールプレイ①②…ロールプレイ＆模擬通訳学習	◆	7月14日 27日	42名
5) 登録手話通訳者懇談会 …札幌市&札聴協同席		8月20日	21名
6) 講演「手話～よもやま話～第1弾（仮称）」 講師：豊橋技術科学大学教授 加藤三保子氏	◇	9月5日	中止
7) コロナ禍における手話通訳者派遣事業の説明会 (「事例研修③④」を中止し、内容変更して実施)		9月24日◇ 9月25日	13名 28名
8) 技術研修（昨年までの「模擬通訳」）	◇	11月6日	7名
9) 健康学習会 …特殊健康診断結果を受けての学習 講師：若葉金三氏（勤医協札幌病院 医師）		11月10日	12名
10) ロールプレイ③④ …専通の通訳現場の再現学習	◆	11月26日 11月27日	中止
11) 司法研修 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺顕修氏	◇	2021年1月23日	中止
12) 司法研修 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺顕修氏	◇	1月24日	中止
13) 手話通訳技術①②…「読み取り技術」「模擬通訳」	◆	1月28日 29日	中止
14) 遠隔手話通訳サービスについて（動画配信） (出張報告を内容変更)	◆	配信期間 3月9日～15日	※58名
15) 「通訳技術・統一試験に挑戦しよう！」	◆	3月22日(昼) (夜)	4名 12名

※アンケート提出者数（専通含む）

2020年度 コミュニケーション支援課 出張一覧

研修内容	人数	月日
1) 特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会 2020年度第28回総会及び第16回施設大会 第1ブロック 7施設会議（リモート）実施 1名 (+2名)		6月25～26日 中止
2) 2020年度 意思疎通支援担当者研修会 (京都府)		7月24～26日 中止
3) 2020年度手話通訳者全国統一試験説明会 (京都府)		7月21日 中止
4) 聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会2020（リモート） 聴覚障害者の社会適応を考える～聴覚障害者のひきこもり・ニートへの対応について～		12月12～13日 希望なし
5) 第53回全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラムinいしかわ～		中止
6) 第46回全道ろうあ者相談員第43回全道専任手話通訳者研修会		中止
7) 2020年度 手話通訳者養成担当講師ブロック研修会【北海道】 (札幌市) 2名 ※活動として北海道 1名 全国手話研修センターより、事前に課題（動画配信）の提出済		2月7日
8) 2020年度手話奉仕員及び手話通訳者担当講師【連続講座】（講義編） 全国手話研修センターより、事前に理論講義（動画配信）を聴講してレポート提出済		3月1～21日

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) 2020年1月下旬以降、世界的に新型コロナウイルス感染症が拡大、国内の感染者数増加を警戒しながら、現任研実施の判断をした。感染拡大予防のため全27回中11回を中止とし、他1回をリモート研修とした。毎年、好評である当協会独自企画研修会（加藤三保子氏・渡辺顕修氏）については、参集を避けるため中止とした。
- (2) 市登録手話通訳者懇談会では、会場の換気、ソーシャルディスタンス等に留意しつつ開催した。主な内容としては、コロナ禍における通訳稼働の不安や保険の見直し等の意見が率直に寄せられた。急遽、9月には現任研の内容を変更し、コロナ禍における通訳稼働時の留意点やろう者の対応等、コーディネート業務に係る説明会を札聴協派遣事業と市派遣事業に分けて開催した。
- (3) リモート研修については、1月からの遠隔手話通訳サービスの正しい理解のため、『遠隔手話通訳サービスの概要及びサービス利用方法等』について動画を作成し、登録通訳者対象に動画配信をした。市と契約（仕様書）に基づいて実施し、視聴後は、感想や意見を提出していただいた。なお、今後の事業の参考として、日聴紙・札聴障の購読や書籍文献等で自主学習を意識してもらうための設問を設けた。

4. 札幌市登録手話通訳者認定証授与式他・新登録手話通訳者研修会の開催

例年、認定証授与式終了後のオリエンテーションでは『札幌市登録手話通訳者派遣事業実施要綱』の確認・派遣事業の流れ・事務処理等の配布資料を基にして説明を行う。その後、新登録手話通訳者対象に、報告書の書き方の研修を行い、例年、実施している通訳の体験交流については実施してはいない。専門分野で求められる知識や技術の研鑽は必要である。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大を懸念し、状況を見ながら時期を変更して実施した。

期 間：2020年4月～2021年2月（開催日程変更含）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2020年度札幌市登録手話通訳者に認定された者

(1) 新登録手話通訳者状況

区分	2019年 一次試験合格者	市外より転入	在札有資格者	合計
新登録者数	5名	0名	0名	5名

(2) 研修会等の内容及び日程

研修内容	月日
認定証授与式・事業説明会 札幌市手話通訳者派遣事業及び、関連する事務手続き等の説明。	4月3日
研修会1) 「報告書の書き方…通訳行為の振り返り等の確認と意見交換	4月7日
研修会2) 「模擬通訳」	7月20日
研修会3) 「経験交流」 ※コロナ禍により通訳依頼をしていないため	中止

(3) 手話通訳者状況報告 (2021年3月31日現在) (単位:名)

	2018年度	2019年度	2020年度
専従手話通訳者	10	9	10
登録手話通訳者	57	55	58
(内、当該年度養成講座修了者)	(2)	(0)	(2)

5. 札幌市手話通訳者の頸肩腕症候群等を防止する健診の実施

期 間：2020年6月～9月

場 所：勤医協札幌病院

対象者：登録手話通訳者(1回)・専従手話通訳者(年2回・2021年2月結果は含まず)

(1) 受診状況

健診対象者	68名	受診者数	56名	受診しない数	12名
-------	-----	------	-----	--------	-----

(2) 診断結果

A (異常なし)	7名	C 1 (要受診)	5名
B 1 (要観察)	31名	C 2 (要受診・業務対策)	0名
B 2 (要注意)	13名		

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

- (1) 健診結果は、A7名中、5名は休止、B1は増加、B2とC1が減少した。
- (2) 健診の結果を基に実施する健康学習会は、出席は少数であったが、医師より道内におけるコロナ感染症患者の実態も含めて情報提供があった。市はコロナ感染症指定医療機関を公表しておらず、連携が図れないと報告があった。
- (3) 健診は、医師の診療体制と検査項目の変更、また、コロナ感染症拡大により休診の影響もあり日程の調整が大変であった。専通は2回実施してきたが、予約ができず別の医療機関にて対応した。登通は2021年度も現状維持の予定であるが、コロナ禍も含めて今後について検討要である。

6. 医療手話通訳者派遣事業の実施（勤医協札幌病院委託事業）

専任手話通訳者を勤医協札幌病院へ常勤派遣し、内科、整形外科、眼科、耳鼻科等で外来診察及び入院治療等を受けているろうあ患者と、医師及び看護師とのコミュニケーションの円滑化のため手話通訳業務を行なった。

期 間：2020年4月～2021年3月 (年間)

業務時間：月・火・水・木・金 9時～15時 第1・3土曜日 9時～12時30分

場 所：勤医協札幌病院

手話通訳者：専任手話通訳者3名・代替手話通訳者8名

(1) 実績及び状況報告

①来院者数及び住居区数 (月別) (単位:名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来院実数	97	55	83	65	66	68	125	78	76	74	53	72	915
白石区	18	11	13	5	16	20	17	22	13	12	7	18	172
厚別区	14	10	13	17	11	6	23	16	10	14	11	8	153

【公益社団法人札幌聴覚障害者協会 2020年度事業報告書】

東区	26	18	23	17	17	21	31	15	19	18	18	24	247
豊平区	17	5	18	10	11	5	20	10	7	10	6	5	124
北区	7	2	6	5	4	4	14	3	8	6	4	4	70
西区	0	3	5	0	1	3	5	3	8	2	0	3	33
南区	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
中央区	7	4	2	6	1	5	5	3	3	5	1	3	45
手稲区	3	0	2	3	2	3	6	2	5	3	2	4	35
清田区	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3
札幌市外	5	2	1	2	2	1	3	2	3	4	3	2	30

②患者及び新患者の状況

(単位：名)

患者数	97	55	83	65	66	68	125	78	76	74	53	72	915
内、新患者数	3	0	1	0	2	0	0	1	3	0	1	0	11

③来院者数状況 (年間)

(単位：名)

区分	2019年度			2020年度			
	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)	
通訳件数	765	747	18	638	627	11	

④年代及び性別の状況

(単位：名)

区分	19才以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80才以上	非該当	合計
男性	0	1	6	45	19	97	174	72		414
女性	0	6	9	26	71	165	234	25		536
非該当									9	9
合計	0	7	15	71	90	262	408	97	9	959

⑤来院者の受診科他別状況 (年間)

(単位：件)

受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	合 計
内科	435	眼科	223	手術	2	
整形外科	101	外科	31	検査	51	
耳鼻科	85	神経科	43	その他	172	
産婦人科	20	労衛科	8	(内、電話通訳)	8	
小児科	5	健 診	113	(内、受付等通訳)	57	
					1289	

⑥入院患者数及び受診科別状況 (年間)

(単位：件)

区分	入院患者数	通訳件数				
		手術	病棟	病棟外診察	その他	合計
件数	5	0	50	1	7	58

(2) 人事

①年度当初は専通1名の欠員、応募がなく、専任手話通訳者4名体制にはならず、代替通訳者へ協力要請し、体制を組んだ。

- 通常業務以外に突発的な業務が多かったが、業務量の平均化ができず、一人に集中した。

②新型コロナ感染症の影響

- 来院患者数・通訳件数の激減

- ・インフルエンザワクチン接種時には希望者が激増して、問合わせや予約だけで60件以上と例年ない状況となった。
- ・有症状患者の場合は『感染しているかもしれない』ということを前提に対応するため、定期受診の患者と比べ対応に時間を要した。
- ・手指衛生やマスク・フェイスシールドの着用、換気・湿度・除菌等に加えて、少しの体調不良でも受診が必要となり（病院課長より指示あり）、検査結果が出るまで数日間勤務ができない状況もあった。人員・体制が整っていない為、一人体制にならざるを得ないことが複数回あった。

7. 札幌聴覚障害者協会手話通訳者派遣事業の実施（独自事業）

札幌市手話通訳者派遣事業実施要綱に適用しない行政、企業、司法機関、団体等からの依頼に基づき、手話通訳者を派遣した。

期 間：2020年4月～2021年3月（年間）

場 所：札幌市内及び近郊

受 付：手話通訳者派遣室

（1）派遣事業の実績及び近況報告

年度区分	2019年度					2020年度						
	依頼件数	派遣人数			派遣時間	依頼件数	派遣人数			派遣時間	取り消し	確保不可
		計	専通	登通			計	専通	登通			
企 業	95	110	70	40	127:25	36	24	13	11	34:00	16	0
司 法	40	56	53	3	143:30	11	15	13	2	42:50	3	0
内 弁護士	10	9	9	0	14:30	2	1	1	0	1:55	1	0
内 警察署	7	10	10	0	26:40	6	11	9	2	33:25	1	0
内 檢察庁	10	13	13	0	29:00	1	2	2	0	5:20	0	0
内 裁判所	13	24	21	3	73:20	2	1	1	0	2:10	1	0
内 刑務所	0	0	0	0	0:00	0	0	0	0	0:00	0	0
各種集会関係	104	197	36	161	530:50	60	88	18	70	188:50	17	0
内 社会生活教室	28	55	7	48	120:00	35	55	3	52	106:25	7	0
大 学	9	16	9	7	25:50	0	0	0	0	0:00	0	0
組 合	15	34	2	32	101:35	7	9	1	8	20:00	2	0
政 党	19	26	18	8	34:10	3	4	2	2	7:00	1	0
放 送 局	15	21	20	1	32:25	46	83	75	8	83:05	1	0
そ の 他	28	29	18	11	65:00	59	103	100	3	142:45	6	0
合 計	325	489	226	263	1,060:45	222	326	222	104	518:30	46	0

（2）派遣分野の状況報告

- ①コロナ感染症拡大の影響により、派遣件数が少なく減収となった。特に、**企業**からの申請（朝礼・研修会・会議等）は取消、毎月の定期申請は一年間なかった。
- ②参考となる集会等は中止となり取消されたが、徐々に主催側もオンライン方式に切替え、コロナ禍の対策としてリモート活用した申請が増えている。会場にて手話通訳者を同時に配信し、イベントを収録後、手話通訳を挿入

する等がある。特に、一定期間インターネット配信される場合もあり、申請者の意向を確認しながら通訳者を派遣している。今後もオンラインに係る申請については課題の整理が必要である。

③2020年4月より市と契約した結果、定例の市長会見（LIVE配信+動画への手話通訳挿入）等に係る派遣総数は132件あり、2021年度も継続されることになった。コロナ感染症拡大に伴い臨時会見も多く、時間の目途も把握しにくく、現在は専通対応としている。

（3）手話通訳者状況報告（2021年3月31日現在）（単位：名）

	2018年度	2019年度	2020年度
専従手話通訳者	10	9	10
登録手話通訳者	108	104	104
(内、市登録手話通訳者)	(57)	(64)	(58)
(内、当該年度養成講座修了者)	(2)	(5)	(3)

8. 札幌聴覚障害者協会手話通訳者現任研修会の開催

2015年度より市手話通訳者と札聴協手話通訳者合同現任研修会とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換等を行なうため開催した。

期 間：2020年4月～2021年3月（年間18回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：札幌聴覚障害者協会登録手話通訳者

（札幌市派遣事業と合同の現任研修は【公1】手話通訳者派遣・手話普及事業に記載）

研修内容	月 日	出席者数	
		登通	専通
1) 講演「手話～よもやま話～第1弾（仮称）」 講師：豊橋技術科学大学教授 加藤三保子氏	9月5日		中止
2) 技術研修 …聞き取り通訳	11月6日	5名	2名
3) 司法研修 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺顕修氏	2021年 1月23日		中止
4) 司法研修 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺顕修氏	1月24日		中止

（自主研修のため出欠連絡、交通費の支給はない）

手話通訳者会議（自主）	月 日	出席者数	
		登通	専通
1) 通訳場面 医療・教育	10月9日（※6月5日から日程変更）	2名	3名
2) 通訳場面 労働・社会生活	10月23日	0名	3名
3) 通訳場面 講演会・式典	2月2日	3名	2名

（1）手話通訳者会議

2014年度より始めた出欠連絡不要の自主研修については、経験年数の少ない通訳者が集まる傾向があり、毎回少人数で行っていることもあり、コロナ禍の様子を見極めつつ判断し、3回実施した。出席者は少数であるが、率直な意見交換を行い、DVDを活用した学習を深めた。

（2）司法場面における手話通訳者研修

2011年度から渡辺顕修氏を講師に迎えて司法研修会を開催してきたが、

2020年度はコロナ禍であり、講師とも直前まで検討を重ねたが中止とした。

(3) 手話言語に係る手話通訳者研修

毎年好評である加藤三保子氏の講演は、参加者が100人規模となるため、参集を防ぐために中止とした。なお、手話通訳者養成講座の講義については、1・2年生合同のリモート講義へ変更した。

II 手話通訳者養成講座の開催

1. 2020年度手話通訳者養成事業の開催

手話による日常会話が可能な手話技術を有する市民を対象に、通訳技術の習得及びろう者とのコミュニケーションを図り円滑な社会生活に寄与するため必要な知識の習得を目的に、ろう者に対する理解を深め手話通訳者を目指す者を養成する講座を開催した。

カリキュラム以外に例年、特別講座（2回）、突破！統一試験学習会（3回）の実施等、手話通訳者全国統一試験（一次試験）の突破を目指し、より個別の課題克服に向けた指導内容を、講師会議にて確認しながら進めてきたが、2020年は、コロナ感染症拡大の影響によりカリキュラム変更し、特別講座2回と学習会1回を中止とした。

養成講座受講生は少人数制であるものの、感染者数の増加により、2019年度末から一定期間を休講とし、インターネットを活用したリモート講義も一部導入する等工夫をした。

期 間：2019年度クラス2年目 2020年4月1日～12月11日（36回）

2020年度クラス1年目 2020年7月1日～2021年3月31日（37回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

(1) 定員・受講者及び修了者の状況 (単位：名)

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2018年度	15	24	15	13	86.7%
2019年度	15	16	14	8	57.1%
2020年度	15	18	13	継続中	継続中

実技 72回（内、通訳Ⅰ課程32回、通訳Ⅱ課程30回、通訳Ⅲ課程10回）

(2) 2019年度クラス（2019～2020年度・2年目）

①通訳Ⅱ課程

月 日	内 容
4月1日～8日	第8～9講座 読み取り通訳
6月17日～7月1日	第10～13講座 聞き取り通訳
7月3日～8月5日 8月7日～9月2日 9月9日～9月16日	第14～27講座 場面通訳・事例検討
9月23日～10月7日	第28～30講座 ロールプレイ

※4月15日～6月10日は、コロナ感染拡大防止のため休講とした

講師：7名（札聴協講師3名 専通講師4名）

②通訳Ⅲ課程

月 日	内 容

【公益社団法人札幌聴覚障害者協会 2020年度事業報告書】

10月14日	第1講座 通訳のやり方・あり方を考えよう
10月21日～30日	第2～4講座 事例検討とロールプレイ
11月4日～12月9日	第5～10講座 手話通訳実習1～6

講師：8名（札聴協講師4名 専通講師4名）

③理論講義 5回 ※リモートを除き2019年度収録のDVD配付による自宅学習

月 日	講義内容	講 師
9月4日（リモート） (2020年度合同)	ことばの仕組み	加藤 三保子 氏 (豊橋科学技術大学特任教授)
※9月30日配付 (DVD貸出)	手話通訳の理念と仕事Ⅱ	渋谷 恵子 (専従手話通訳者)
※10月21日配付 (DVD貸出)	手話通訳者登録制度の概要	福島 太郎 氏 (札幌聴覚障害者協会理事)
※11月11日配付 (DVD貸出)	手話通訳者の健康管理	若葉 金三 氏 (勤医協札幌病院医師)
11月30日 (リモート)	聴覚障害児の言語発達とろう教育	大西 孝志 氏 (東北福祉大学教授)

※道外の講師は、リモート（Zoom）を活用し受講生が聴講した。

④修了時アンケートの結果

アンケートからは、講座の学習を通して手話表現や読み取りに変化を感じた（手話の特徴を生かして意味を表す手話表現を意識した、読み取りでは日本語の語彙の選択に気を付けるようになった）との意見が多くった。しかし、自己の目標や課題は理解できたがまだ未熟であるとの感想もあった。ロールプレイや事例検討は、通訳経験の無い受講生にとっては問題が掴みにくく、理解するまでに時間がかかる内容であり、指導方法に工夫が必要である。また、コロナの影響で欠席せざるを得ない受講生も複数居り、リモートによる講座の実施を希望する意見もあった。

（3）2020年度クラス（2020～2021年度・1年目）

①通訳Ⅰ課程

月 日	内 容
7月1日～8月12日	第1～7講座 基本文法の復習
8月19日	第8講座 手話通訳の現場から学ぼう
8月26日～9月16日	第9～12講座 身近な場面通訳
9月23日～10月14日	第13～16講座 要約
10月21日～11月18日	第17～21講座 読み取り通訳
12月2日～12月9日	第22～23講座 手話を見て要約
12月16日～2021年1月27日	第24～28講座 聞き取り通訳
2月3日～2月24日	第29～32講座 場面通訳

②通訳Ⅱ課程

3月3日～3月10日	第1～2講座 話しを聞いて要約
3月17日～3月31日	第3～5講座 手話を見て要約

講師：12名（札聴協講師7名 札通研講師2名 専通講師3名）

③理論講義 5回 ※リモートを除き2019年度収録のDVD貸出による自宅学習

月 日	講義内容	講 師
9月4日（リモート） (2019年度合同)	ことばの仕組み	加藤 三保子 氏 (豊橋技術科学大学特任教授)
※10月7日配付	身体障害者福祉概論	唐嶋田 智 氏 (市障がい福祉課在宅福祉係長)
※11月4日配付	手話通訳の心構え	渡辺 聰子 (登録手話通訳者)
※12月3日配付	ソーシャルワーク概論	田村 里子 氏 (WITH医療福祉実践研究所)
※2021年1月13日配付	手話通訳の理念と仕事 I	山田 幸雄 (専従手話通訳者)

※DVD配付の講師は、2019年度収録時の肩書き

④通訳 I 課程アンケート結果

アンケートからは、意味をつかんで手話表現を考えることが少しできるようになったこと、以前より読み取りの正確さが増したという感想があった。逆に講師の手話での説明が読み取れないという感想もあり、受講生の差が見られている。シャドーイング教材をあまり活用していない受講生が多く、講座の中でも内容確認しながら活用を促す必要があった。2時間の講座内だけで効果を上げることには限界があり、講座以外でもう者の手話をたくさん見ること、会話する機会を増やす等の努力や工夫が必要である。

2. 手話通訳者養成講座の講師に対する研修及び会議等の実施

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

（1）2019年度クラス（2019～2020年度・2年目）

①節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳 II 課程	4月21日	8月17日★	12月21日☆
通訳 III 課程	8月17日★		12月21日☆

★☆ それぞれ合同の実施とした。

（2）2020年度クラス（2019～2020年度・1年目）

①4月2日（木） 事業説明会・選抜試験打ち合わせ会

②4月9日（木） 受講者選考試験・面接試験（一日目・夜間）

4月10日（金） 受講者選考試験・面接試験（二日目・昼間）

③中止 講師研修会「指導のポイント①」

④中止 講師研修会「指導のポイント②」

⑤節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳 I 課程	①4月27日 ②中止	中止	2021年3月11日
通訳 II 課程	2021年2月12日	—	—

【手話通訳者養成講座講師団】

ろう講師は札聴協、聞こえる講師は札通研が推薦する者、または専通が講

座を担当し、調整して進めた。

尚、全国手話研修センター主催の「2020年度【手話通訳者】養成担当講師ブロック研修会（北海道ブロック）」（2021年1月16日～2月13日ウェブ研修、2月7日zoom研修）については、ろう講師・聞こえる講師2名ずつ出張となった。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) 2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策を念頭に置き、リモート（Zoom）を活用した講義を導入した。準備段階では、情報センターのインターネット環境が不十分であり通信状況の課題あり、機材の準備等、ＩＴ機器を活用したリモート講座の切替えには、事務作業が増大した。
- (2) 養成講座は、各クラス定員15名であり他の講座と比べ少人数制であること、リモートでは実施不可な講義もあり、情報センターでの講義も開催とした。コロナ感染症拡大に伴い集中対策期間が実施となつたが、2019年度通訳Ⅲ課程では通訳実習に入り、リモートでは実施困難な内容と判断した。不要不急の外出との判断に該当しないこと等、情報センターや市の理解と協力もあり開催を継続することができた。一方、2020年度通訳Ⅰ課程では講座の内容によって、リモート講座へ切替え受講生は自宅にて受講することとした。講師や受講生ともにリモート講座への順応性と、指導方法の工夫等、新たな課題も見えた。

3. 「2020年度札幌市登録手話通訳者認定試験学習会」の開催(独自事業)

手話通訳者全国統一試験に挑戦する受験者のために読み取り要約に絞って学習会を開催した。

2020年度は、統一試験の内容が変更となつたが、コロナの影響で十分な周知ができない部分があり、学習会を1回増設して対応することとした。

期 間：2020年8月3日（月）・9月1日（火）・10月2日（金）

※年間計画では11月21日（土）も設けていたが中止

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：受験者及び受験を考えている者

結 果：8月3日 11名 9月1日 14名 10月2日 26名（内、市外 6名）

学習会の内容としては、試験科目から『手話の要約』が『場面通訳』と『筆記試験』に振り分けられるとのことから『場面通訳』に絞って実施した。

III 手話奉仕員養成講座の開催

聴覚障害者に対する理解を深め、手話の普及並びに手話奉仕員を目指す者を養成した。

1. 手話講習会（入門）事業（札幌市委託事業）

（1）2020年度札幌市手話講習会の開催

聴覚障害者に対する理解を深めることと、手話で初步的な日常会話ができる目的とした講習を開催した。

札幌市内10区会場で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、動画配信に変更して開催した。

期 間：2020年7月6日（月）～11月9日（月）（18回）※通常21回

①定員・受講者及び修了者の状況 (単位:名)

	中央A	中央B	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
定員	30	30	35	40	40	30	30	30	35	30	360	
申込数	108		92	86	57	43	45	17	36	49	35	568
受講決定	28	30	35	40	40	30	30	23	30	35	30	353
動画受講	14	10	18	10	13	16	11	16	10	17	9	144
修了者	5	3	10	5	3	6	4	9	6	6	5	62
定員		応募者数		受講者数		修了者数		修了率				
2019年度		360		321		306		219		71.6%		
2020年度(動画)		360		568		144		62		43.0%		

②開講式・・中止

③実技 (18回) (毎週月曜日)

7月6日	第1・2講座 表現基礎演習
7月13, 20, 27日・8月3, 17, 24日	第3～8講座 自己紹介
8月31日	第9講座 自己紹介～まとめ～
9月7, 14, 28日・10月5, 12, 19, 26日・11月2日	第10～17講座 話してみましょう
11月9日	第18講座 総まとめ

④理論講義(合同・出前)(2回)・・中止 ※ミニ理論 9月18日(金)配信

⑤修了式・・中止

(2) 手話講習会の講師・助手に対する研修及び会議等の実施

①4月6日(月) 事業説明会 市視聴覚障がい者情報センター

②4月6日(月) 合同講師補助講師研修会 市視聴覚障がい者情報センター
「手話奉仕員のテキスト概要と指導ポイント」

講師 若浜ひろ子氏(札聴協理事)

③5月11日(月) 各区講師補助講師打ち合わせ・・中止

④7月31日(金) 講師補助講師節会議 市視聴覚障がい者情報センター

⑤11月9日(月) 各区講師補助講師反省会・・中止

⑥11月30日(月) 全体講師補助講師反省会・・中止

【手話通訳者養成等運営会議(養成)】

(1) 往復はがきから市コールセンターでの受付に変更した。募集開始時期を1月からに早め、12月中に市内各大学へポスター・チラシを郵送、若年層への周知に力を入れた。また、市の協力により、イオングループを通しての周知、ふりっぱー(全区)への掲載も実現し、応募は過去最高の568名、平均年齢も40代へと若返った。新型コロナウイルス感染症の影響により会場で開催できず、動画配信(オンデマンド)と切替えたが、結果的に受講生が減少したことは残念であった。

(2) 動画配信に変更するにあたり、事前に模擬講座を配信し、視聴可能か確認後、テキスト購入者を受講生とした。(一部再受講者はテキスト購入を条件とせず)希望者にはテキストを郵送(送料は市負担)、また情報センターでのテキスト販売には、購入者が一日にどの程度集まるか予測が不可能であり、アルバイトを頼み対応した。受講生のメールアドレスの登録や、受講期間途中での配信トラブル(メールが届かない等)への

対応が大変であった。

- (3) 全講座の動画視聴（チェックシートへの記入）とDVD感想やアンケート等提出物の提出をもって修了とし、修了生には、会場受講生と区別する意味で、正式な証書ではなくメール貼付で修了証書を送信した。
- (4) 初めての動画配信であったが、受講生のアンケート集約の結果、概ね好評であった。修了できなかった受講生の中にも、熱心に受講し、アンケート等提出した者が多数いた。2020年度動画受講者に限っては、2021年度手話講習会参加を認めている。（通常、修了者は再受講不可）

2. 中級手話講習会（基礎）事業

- (1) 2020年度札幌市中級手話講習会の開催（札幌市委託事業）

手話で日常会話を行なうのに必要な手話語彙及び手話表現技術を習得し、聴覚障害、聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度などについての理解と認識を深め、地域で活動する人材の育成を図るための講習を開催した。

期 間：2020年7月30日（木）～2021年1月21日（木）（18回）※通常26回
会 場：市視聴覚障がい者情報センター

- ①定員・受講者及び修了者の状況 (単位：名)

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2018年	50	70	50	43	86%
2019年	50	90	50	42	84%
2020年	50	64	50	42	84%

- ②受講者の住居区分状況 (単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
申込者	12	3	13	4	8	7	2	2	11	2	64
受講者	9	3	8	2	8	6	2	2	9	1	50
修了者	9	2	6	1	7	7	1	2	6	1	42

※合格通知後、コロナ感染を懸念しての辞退3名あり

- ③開講式 7月30日（木） ※5月14日より日程変更

- ④実技（毎週木曜日）

月 日	内 容
7月30日～10月29日	第19～34講座 基本文法
11月5日～11月12日	第35・36講座 総合練習 I
11月19日	第37～40講座 総合練習 II・まとめ
1月14日～1月21日	

※11月26日～12月3日は休講し、1月14～21日へ日程延期して実施。

講師：8名（札聴協推薦講師5名 札通研推薦講師2名 専通1名）

- ⑤理論講座 ※いずれも2019年度録画したDVDを貸出し、自宅視聴へ変更。

- ・9月17日（木）「ボランティア活動」 講師：三神久子氏
(中級手話講習会担当講師)
- ・10月29日（木）「障害者福祉の基礎」 講師：岸龍馬氏
(札幌市障がい福祉課在宅福祉係)
- ・11月19日（木）「聴覚障害者活動と聴覚障害者福祉制度」 講師：佐藤尚行氏・中和彦氏
(中級手話講習会担当講師)

- ⑥修了式・講評・反省会 2021年1月21日（木）

(2) 中級講習会の講師に対する研修及び会議等の実施

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

①4月1日（金）事業説明会

②4月6日（月）合同講師助手研修会 「奉仕員養成課程のねらい」

③中止 講師研修会「指導技術」

④節会議・評価会議・反省会

内 容	日 程			
節会議	①4月10日(金)	②7月9日(木)	③中止	④9月9日(水)
講師反省会	2021年1月28日(木)			

【中級手話講習会講師団】

2020年度はろう講師5名、聞こえる講師3名に担当を依頼した。新型コロナウイルス感染症の影響により、開講式を大幅に延期した。さらにカリキュラムも短縮し、理論講義は一堂に会さず、2019年度の講義収録DVDを貸出、自宅視聴へと切替え等、変更した。2グループ制（各25名）は4年目となり、講座の進め方にも慣れた講師が多かったが、日程の短縮に伴い2講座分を1講座にまとめた講座も数回あり、内容によっては時間配分が厳しかったと講師より意見あり。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) 2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、リモート講座（手話講習会同様オンデマンド配信予定）の実施を検討していたが、受講生へインターネット環境に係るアンケート調査をした結果、機器が充分でなく実施は断念した。コロナ感染症拡大に伴い集中対策期間が実施となつた11月下旬、受講生の人数も多く、検討した結果休講と判断した。2021年1月へ延期、修了式も短縮で実施した。
- (2) カリキュラムの変更や期間短縮に伴い、第19・20講座（開講式含む）、第23・24講座、第31・32講座、第38・39講座、第40講座・修了式を、それぞれ合同とした。特に、第19・20講座は開講式であり、初日の講座で時間的な余裕もなく、後日講師から意見あり、今後の参考としたい。
- (3) カリキュラム残り2回を延期し、受講生の欠席が増えたことにより、アンケート回収率が低下したことは残念であった。集中対策期間中も熱心に受講する方も多く、修了率は例年と同様であった。アンケート集約の結果は、コロナ感染症を危惧する受講生からはリモート講義の希望もあった。全体的には期間短縮となつたが、会場にて受講できたことは好評であった。直接、講師の手話表現を見て学習できたことの大切さに関する意見が多かった。

【情報・コミュニケーション部】

(1) 手話講習会について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各区会場での開催は中止という未曾有の事態となつたが、オンライン配信の手話講習会に変更して開催することができた。急遽、理事5人に依頼して講義をしていただいた。

受講生には戸惑いもあったが、オンラインの授業を体験すると、思つ

た以上に良い、もっとしたいという反応があった。

(2) 中級手話講習会について

コロナ禍のため延期、回数を減らし、感染防止に配慮し開催してきたが、無事終了できた。経験ある講師たちと支え合いながら進めることができた。

(3) 手話通訳者養成講座について

各講習会と同様に延期し、オンライン講座に切り替えて進んだ。

実際にオンラインで行ってみると、特に実技は、対面の数倍の労力がかかる上、質の確保が難しいなど課題も多い。途中から対面授業を再開したが、感染防止に配慮しながら進めた。講師担当との情報メール共有に努めた。

(4) 講座全般について

2020年度各手話講座の減少のため、講師たちは手話指導ができず、学習する機会が少なかった。

改めて良い講師になるために講師育成講座、研修センター手話講座などで学習し必要な知識、指導方法などを学ぶための取り組みが必要である。

(5) 専門部会議について

1年間の内、各区情報コミュニケーション部の会議日数は5回だけで内容は少なく、情報交換もできない状態であった。

各区手話サークルも同様に休会、または短時間、回数減少している様子だった。ろうあ者と聞こえる人が触れ合う機会が少なく、手話が薄れてしまうことへの不安があった。一部のサークルはオンラインに切り替えて交流できた所もあった。

今後の新型コロナウイルスの状況が見えないので、各支部と手話サークルとの連携を強化し、情報を共有しながら個々の課題把握に努めることが必要である。

IV 札幌市手話通訳者養成等運営会議（派遣・養成）

構 成：札幌市障がい福祉課・札幌聴覚障害者協会・札幌手話サークル連絡協議会・札幌手話通訳問題研究会

期 間：2020年4月～2021年3月（8月除く月1回開催）時間 19：00～20：45

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月 日	区分	主な内容	人数
1	4月 16日	派遣	派遣状況、広域派遣 登通状況について	9名
2	5月 21日	養成	各講座の申込・選考状況、講師割り振りについて、現任研の報告	中止
3	6月 18日	派遣	派遣状況 広域派遣 苦情対応について	12名
4	7月 16日	養成	各講座の進捗状況、手話講師育成講座、手話通訳者現任研修会について	13名
5	9月 17日	派遣	派遣状況、広域派遣、制度外派遣について	10名
6	10月 15日	養成	各講座の進捗状況、育成講座、手話通訳者現任研修会、全国統一試験及び学習会について	13名
7	11月 19日	派遣	派遣状況、広域派遣、登通状況について	10名
8	12月 17日	派遣	コロナ禍での派遣状況、遠隔手話通訳サービスについて ※一部リモート出席1名含む	12名

9	2021年 1月21日	養成	2021年度各講座に向けて、養成・育成講座の進捗状況、統一試験、現任研修会について	10名
10	2月18日	派遣	派遣状況、広域派遣、関係機関との連携について	9名
11	3月18日	養成	2021年度各講座の申込状況、育成講座の修了、現任研修会の状況、コロナ対策について	13名

※第8回は例年『養成』の回であるがコロナ禍の状況があり急遽『派遣』へ変更。

【緊急事態対応 新型コロナウイルス感染対策】

- (1) 養成事業では、2019年度末から継続し、コロナ禍での各種講習会や講座・研修会の対策をしながら実施してきた。外部講師はリモート活用が可能な時と参考となる研修会については中止と判断した。事務処理として、会場（日程変更や取消）、事務処理（受講生の周知等の連絡・インターネット環境の整備等）が増大した。4～6月中旬まで、養成講座は一部休講とし、受講生への透明マスク配付、消毒液等の物品補充、会場では、受講生の検温記録、換気、ソーシャルディスタンス等にも留意しながらの対応とした。
- (2) 各講座は、インターネットを活用した指導方法を模索しつつ対策を検討した1年であった。手話の特性上、対面の学習が一番であり、リモートやオンデマンド配信での学習の限界も感じた。但し、受講生の中には、職業柄、コロナ感染拡大予防を最優先に考えなければならない方もいるため、動画配信等での学習保障も必要である。
- (3) 派遣事業では、コロナ禍においても、生命・医療分野の申請は多く、病棟には事前の通訳名のお知らせや許可証の指示等もあり、専従手話通訳者の稼働が増えた。通訳行為は労働であり登録手話通訳者も医療補償が必須と考えるが、現在の制度では脆弱であり負荷を考慮してコーディネートしていく必要がある。ろう者が安心して利用できる制度が求められる。
- (4) 手話通訳者自身の高齢化と健康問題、家族（高齢者）の同居による介護等の理由により、通訳者の稼働へ制約ともなっている。従来の対面通訳に加えて、遠隔手話通訳方式も導入されたことで、コロナ禍における派遣について、稼働時に少しでも不安を払拭できるような有効な対応が求められている。
- (5) コロナ禍では、保健所に時間外も含めて緊急連絡先を伝えることにした。現実には緊急時対応は、通訳者の事後報告を認めているが、ろう者が安心して制度を活用できる状態ではない。市内には各区役所も含め、タブレット端末が16ヶ所配置されているが、ろう者が直接アクセスすることはできないが、遠隔手話通訳サービスも含めて柔軟な活用ができるところを当事者側は願っている。

【養成事業】出席者

札幌市：障がい福祉課 森岡祥広係長、高橋久美職員

札聴協：宮内博子副理事長、若浜ひろ子理事、福岡静枝理事、京野大樹事務局長、渋谷悌子課長、佐藤有香係長

札サ連：鍛治由佳子副会長、三上基子事務局長

札通研：中村雅子事務局長、樋口道雄広報部長

【派遣事業】出席者

札幌市：障がい福祉課 森岡祥広係長、高橋久美職員
 札聴協：渋谷雄幸理事長、高嶋正博常務理事、若浜ひろ子理事、京野大樹
 事務局長、渋谷悌子課長、金原さとみ係長、佐藤有香係長
 札通研：中村雅子事務局長、樋口道雄広報部長

V 手話教室の開催

手話を社会一般に広めるとともに、それを使用する聴覚障害者についての知識や理解も深めてもらうために次の事業を行なった。

1. 手話教室事業の開催（独自事業）

（1）はじめての手話教室（入門課程）（昼間）

手話の学習経験がない者を対象に、聴覚障害者の生活・文化等を理解するとともに手話で簡単な日常会話ができるようになることを目的として日中に手話教室を開催した。

期間：第39回はじめての手話教室

2020年7月3日（金）～11月13日（金）

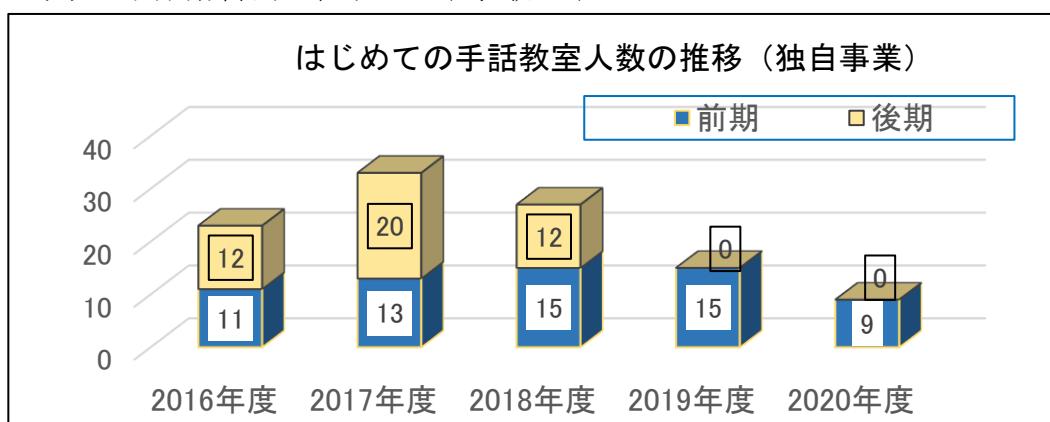
（新型コロナウイルスの影響で20回中18回で終了）

受講人数：受講生10名（修了生9名）

ろう講師1名 聞こえる講師1名

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話講習会の経験ない者、初心者



（2）①第16回フォローアップ手話教室

②第17回フォローアップ手話教室

③フォローアップ手話教室（夜間）

新型コロナウイルスの影響で中止した。

（3）第14回中級手話教室（基礎課程）（昼間）

入門課程で習得した会話技術に加え、基本文法も学ぶことで特定の聴覚障害者とならば日常会話ができるようになるとともに、福祉制度の基礎知識や聴覚障害者の歴史についても理解できることを目的に日中の時間帯で中級手話教室を開催した。

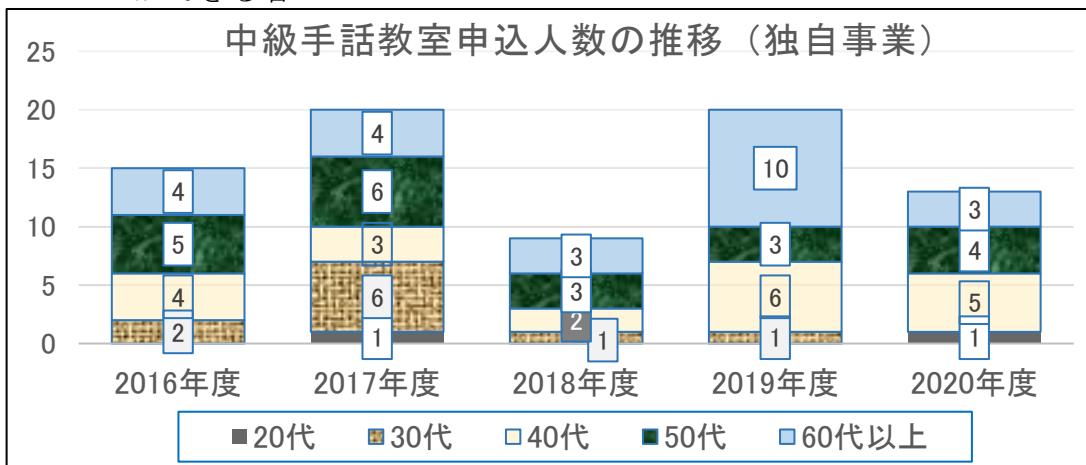
期間：2020年7月1日（水）～2021年2月3日（水）

（新型コロナウイルスの影響で30回中27回で終了）

会場：市視聴覚障がい者情報センター（後半一部オンライン方式）

受講人数：受講生13名（修了生11名）ろう講師2名 聞こえる講師2名

対象：入門課程の修了者または同程度の力量がある者、手話で簡単な会話ができる者



- (4) 第13回レベルアップ手話講座（昼間）
新型コロナウイルスの影響で中止した。
- (5) 2020年度はじめての手話教室（福祉編～介護・福祉など働く対象～）
新型コロナウイルスの影響で中止した。
- (6) 2020年度はじめての手話教室（医療編～薬局で働く人対象～）（夜間）
新型コロナウイルスの影響で中止した。
- (7) 2020年度はじめての手話教室（医療編～病院で働く人対象～）（夜間）
新型コロナウイルスの影響で中止した。
- (8) 耳が聞こえない・聞こえにくい方のための手話教室
聞こえない、聞こえにくい方が初めて手話を学び、手話でコミュニケーションができる目的で手話教室を開催した。
期間：2020年9月7日～11月16日（全10回）
毎週月曜日 18：30～20：30
会場：市視聴覚障がい者情報センター
受講人数：受講生3名（修了生3名）
対象：聞こえない人・聞こえにくい人
- (9) オンラインはじめての手話教室
手話の学習経験がない者を対象に、聴覚障害者の生活・文化等を理解するとともに手話で簡単な日常会話ができるようになることを目的として日中に手話教室を開催した。
期間：2020年6月25日～11月19日（全20回）
会場：市視聴覚障がい者情報センター（スクーリング3回分）
受講人数：受講生3人（修了生3名）
対象：インターネットが利用できる環境にある方で手話講習会等の学習経験のない方

2. 札幌市ミニ手話講座（札幌市委託事業）

札幌市から委託を受け手話を学習した事のない一般市民を対象に講座を開催した。

期間：2020年8月～2021年3月（10回）

対象：札幌市民

回数	年月日	会場名	対象	参加人数
第1回	2020年8月19日	オンライン (札幌視聴覚障がい者 情報センター)	市民	8名（2名）
第2回	9月15日		市民	2名（3名）
第3回	9月15日		市民	7名（1名）
第4回	10月12日		市民	2名（1名）
第5回	11月8日		市民	8名（3名）
第6回	12月9日		市民	10名（1名）
第7回	2021年1月16日		小学4～6年の子 供・保護者	1組（欠席無し）
第8回	1月19日		市民	6名（4名）
第9回	2月19日		市民	7名（1名）
第10回	3月10日		市民	7名（2名）

*（）当日欠席者数

【手話普及事業担当】

- ・はじめての手話教室は4月から開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行で日程を延期し、さらに18回まで進んだところで市内の感染者が急増したため打ち切りとした。その時点で条件を満たしていた受講生は無事修了することができた。
- ・中級手話教室は全30回中20回まで対面で講義を行ったが、コロナの影響で継続は難しく、カリキュラムを組みなおして21回目からZoomを活用したオンライン方式にすることで修了まで進められた。
- ・オンラインはじめての手話教室は、拡大するコロナの感染防止対策（新北海道スタイル）と、今後のICT時代をも見越した新たな取り組みとして、試験的に企画した。
- ・各講座の申し込み人数が伸びないため、15名以上は確保すべく呼びかけ方法など工夫をしていく。
- ・耳が聞こえない・聞こえにくい方のための手話教室では、手話がわからない聞こえない受講生に対して、ホワイトボードや用紙、パワーポイントなどを活用して、目で見てわかる方法でコミュニケーションをとった。
- ・札幌市ミニ手話講座は初めてオンラインで講座を開催した。
参加者の年齢層は幅広く、積極的に学んでいる姿が見受けられたが、申込人数が少ないので課題である。今後は対策について検討の必要がある。

VI 手話講師の派遣

聴覚障害者に対する理解とコミュニケーション方法や言語としての手話を教え、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深めるために聴覚障害者の講師を派遣した。

1. 聴覚障がい・手話啓発事業

期間：2020年4月～2021年3月（年間）

場所：市内各所（学校、企業等）

受付：法人事務局

(1) ボランティア活動センターからの依頼 9件（中止1件）

年月日	学校名・企業名等	対象	人数
7月2日・6日	札幌市交通局	交通局勤務職員	179名
9月14日	月寒東小学校	小学4年（3クラス）	92名
9月29日	みどり小学校	小学4年（2クラス）	70名
10月16日	新発寒小学校	小学4年（2クラス）	80名
10月23日	開成中等教育学校	中学3年（2グループ）	40名
10月30日	みなみの杜高校支援学校	高校1年	55名
11月18日	幌東中学校	コロナウイルスの影響で中止	
12月18日	月寒小学校（オンライン）	小学5年（3クラス）	90名
3月5日	平和通小学校（オンライン）	小学4年（2クラス）	64名

(2) ボランティア活動センター主催手話講座の講師派遣依頼 中止5件

年月日	講座名	対象	人数
2020年4月14日	手話体験講座	コロナウイルスの影響で中止	
5月12日～6月23日	ボランティアのため入門講座		
6月3日	障がい者講師養成講座		
12月10日	手話体験講座		
2021年1月14日～3月4日	ボランティアのため入門講座		

(3) 直接依頼（企業・団体・他）4件（中止3件）

年月日	学校名・企業名等	対象	人数
7月10日・29日	清田区民シニアスクール	コロナウイルスの影響で中止	
8月	札幌矯正研修所札幌支所		
9月4日	札幌市役所 障労連学習会		
2021年1月13日	札幌市教育センター（オンライン）	教職員	30名

2. 手話養成普及事業

(1) 講師派遣事業

期間：2020年4月～2021年3月（年間）

場所：市内各所

受付：法人事務局

学校名・企業名等	期間・回数	学科名等対象	人数
札幌聖心女子学院	通年木曜日12回	中学2年(2クラス)	23名
	通年木曜日12回	中学3年(2クラス)	27名
	通年木曜日22回	高校1年	20名
経専学園北海道観光専門学校	前期12回	エアライン科2年	23名
	後期11回	エアライン科1年	18名
	前期12回	旅行科2年	9名

	後期13回	旅行科1年	12名
	後期11回	ホテル科2年	28名
	後期11回	ウェディング科2年	5名
経専学園医療事務薬業専門学校	前期11回	医療事務学科2年	32名
	後期12回	医療事務学科2年	14名
	前期11回	薬業学科2年	8名
	後期12回	薬業学科2年	4名
光塩学園女子短期大学	前期(16回)	保育科2年(2クラス)	51名
札幌どうぶつ専門学校	前期(10回)	犬の美容、動物看護、ペットライフ学科2年	33名
三幸学園ブライダル＆ホテル観光専門学校	前期(15回)	ホテルエアトラベル科2年	14名
札幌心療福祉専門学校	後期(15回)	精神保健福祉科3年	13名
札幌医科大学(対面・オンライン)	後期12回×2クラス	看護学科・作業療法学科・理学療法学科1年	73名
経専学園北海道保育専門学校	後期前半×8回	こども未来学科3年	15名
	後期後半×8回	こども学科2年(2クラス)	29名
さっぽろ市民カレッジ(ちえりあ)	後期(15回)	高校生・一般	12名
三幸学園医療秘書福祉専門学校	後期(10回)	介護福祉科1年	23名
耳鼻咽喉科麻生病院			
一番街商店街振興組合 レディス会手話サークル	コロナウイルスの影響で中止		

3. 講師・助手事業説明・研修会

新型コロナウイルスの影響で中止した。

【手話普及事業担当】

- ・単発講座の派遣依頼数は、新型コロナウイルスの影響で激減した。
代わる方法として、オンライン会議システムZoomを活用した講座を行った。
- ・各種専門学校などの授業に及ぼすコロナの影響を心配していたが、予定通りの対面授業で行えた。今後もまだ再流行の可能性があり、必要に応じて休校またはオンライン授業へ切り替える学校が増えると予想される。
- ・ろう講師や聞こえる講師および助手の高齢化で、依頼数に見合った人材確保が厳しい状況。登録者の増員と共に研修会等による研鑽の場も必要である。

VII 第15回全国手話検定試験の実施

*試験会場として実施協力（主催：社会福祉法人全国手話研修センター）

(1) 受験者のための学習セミナー〔中止〕

日時：2020年8月29日（土）9：30～16：30

会場：市視聴覚障がい者情報センター

*新型コロナウイルスに関わる諸事情により、当日試験の開催を中止したため、取りやめた。

(2) 第15回全国手話検定試験（団体試験） 面接委員派遣協力
企業・学校・団体等が開催する団体試験に対して面接委員・要員の派遣

①日時：2020年9月1日（火）14：40～16：40

会場：学校法人美専学園北海道医薬専門学校

派遣：面接委員（きこえる者）1名、要員1名

受験者：5級 6名

②日時：2020年9月25日（金）10：00～12：00

会場：学校法人三幸学園札幌ブライダル&ホテル観光専門学校

派遣：面接委員（ろう者）1名、要員1名

受験者：5級 9名

合格者：9名

(3) 第15回全国手話検定試験の実施〔中止〕

日時：2019年10月12日（土）5級・4級

10月13日（日）3級・2級

10月19日（土）準1級・1級

2020年2月27日（土）

2月28日（日）

2月23日（火・祝）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

*新型コロナウイルスの国内感染拡大の影響を受け、日程を延期して開催することとなつたが、土地柄、会場、受験者や面接委員等のリスク回避の観点から札幌会場は中止とした。（道内の他の3会場も中止）

(4) インターネットで受験する

第15回全国手話検定試験 面接委員派遣協力

日時：2021年3月6日（土）5級・4級 A日程

3月13日（土）3級・2級 B日程

会場：市視聴覚障がい者情報センター

*オンライン会議システム「Zoom」を活用した初の面接試験

	5級	4級	3級	2級	合計
申込者	20名	20名	12名	12名	64名
受験者	19名	18名	12名	12名	61名
面接委員	3名	3名	4名	4名	14名

【手話検定試験担当】

5年連続で団体試験を開催してきた光塩女子短期大学は、新型コロナウイルスの感染防止のために今年度見合せた。新規の専門学校2校へ面接委員派遣の打診があり、受験者の人数が条件には満たなかつたが、当日試験中止の事情もあるため受ける事とした。両校とも来年度以降も継続の意思を示している。

インターネット試験は当初、全国手話研修センターで独自に行うとのことであつたが、申し込み人数が予想を大幅に超えたらしく、開催までひと月を切ってから急きょ応援要請が入った。初めての試みに手探り状態だったが、全5日の日程のうち2日（会場の都合で1日は半日）協力をした。

有線必須でインターネットの安定を図るも、途中で何度も回線が切断されるトラブルや、映像が固まったり飛んだり、荒くて見えないなどの課題をどのように解決するか課題は残る。しかし、来年度以降の新型コロナウイルスや他の感染症の流行、ICT化される時代の流れと需要を考えると、対面試験の一方で、このような形での試験も取り入れていく必要があると考える。

VIII 手話学習支援アプリの研究開発に伴う協力

日本ユニシス株式会社は手話学習者がアプリを使用して学習者の手話表現をAIが認識して正しい手話が表現されているか評価する「手話学習支援アプリ」を開発している。当協会としては協力の形で。利用者視点での開発支援や手話データ採取協力など行った。

期間：2020年10月～2021年3月

内容：①打合せ（出席：日本ユニシス株式会社、札通研、札聴協）
②サンプル撮影（本番撮影のため）

③本番撮影（理事・監事、事務局職員の協力）

IX 手話通訳者育成指導者養成の開催

1. 手話講師育成講座事業（札幌市委託事業）

（1）2020年度手話講師育成講座事業の開催（2014年度開始）

手話奉仕員と手話通訳者養成事業を担う講師（人材）の確保を確実に進めるため、講習技術の向上を図り適切な講習が可能な講師を増やすことを目的としている。

コロナ感染症の影響により、11月14日開催予定を1月17日に延期し、回数も短縮したカリキュラムで実施した。

また、定員を超える申込があったが、コロナ感染症対策により会場の定員削減のため、すべての希望には対応できなかった。

①手話奉仕員養成課程 定員40名

課程	回数	期間	受講者数	修了者数	修了率
入門課程	4回	2021年1月17日～2月6日	39名	10名	25%
基礎課程	2回				

講師：渋谷雄幸、若浜ひろ子、渋谷悌子、菅原美樹、山田幸雄

②全課程 定員20名

課程	回数	期間	受講者数	修了者数	修了率
通訳Ⅰ課程	4回	2月21日～2月28日	21名	6名	28%
通訳Ⅱ課程	3回				

※通訳者養成課程のみ受講者2名あり。

講師：渋谷雄幸、若浜ひろ子、渋谷悌子、山田幸雄

③理論講義（合同）

	講師	実施日	受講者数
ことばの仕組み（手話）	筑波技術大学教授 大杉豊氏	1月17日	24名
手話通訳の理念と仕事 I・II	全国手話研修センター参与 石川芳郎氏	3月14日	24名

【手話講師育成講座講師団】

講師団は札聴協会員で講座の指導経験が豊富な者、聞こえる講師は専通が担当し、調整して進めた。講師会議にて過去の反省点を踏まえ、2019年度より各テキストの第1講座から順番に、数年かけてすべての講座内容を学べるよう進めている。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) コロナ禍により、開講式を延期、日程変更に伴う会場の確保が厳しく、期間短縮（講座回数減）とした。実技は、講師によるモデル講義と受講生による模擬講座を組み合わせて実施した。講師経験の無い受講生にも実際に指導を体験してもらえる模擬講座を組み込んだ内容としており、受講生には事前に予告をし、準備して臨んでもらった。
- (2) 理論講義では「ことばの仕組み（手話）」と、2019年度は中止した「手話通訳の理念と仕事」を外部講師に依頼、両講師ともリモート講義で開催することができた。インターネット接続においては、設備上の問題もあり、課題が残った。
- (2) 申し込みされたが、コロナ感染症を懸念し受講を断念する方、長期欠席者も多く、受講生の周知や連絡時は、養成事業係専用メールアドレスを活用した。土日集中型（5年目）は、例年、他の行事や研修会等と日程が重なるため、受講証明書を手にできない受講生もいたが、2020年度は短期間になり、コロナ禍でも集中して通い、証明書授与者は2019年度より増えた。講師は常に学習が必要であり、講師の人材を増やすだけでなく、現講師もまた学習を継続することが大事と考えている。

X やさしさっぽろ手話（社会福祉協議会共同開催）

2016年6月に社会福祉協議会より、「札幌市障がい者コミュニケーション条例」及び「手話言語条例」の制定に向けた取り組みで手話を広めるPRの必要性を考え、共同開催の提案を機に開催となり継続中。

日 時：第2・4火曜日（祝日除く）11：30～12：00

会 場：社会福祉総合センター

（2020年度より、従来の1階アトリウムではなく、会議室等での開催・事前申込・定員制に変更）

対象者：主に初心者対象としているが条件等はなく自由参加。

実施内容：基本的な手話単語は6回を1クールをとし、2020年度は、さらに会話中心の内容とした。参加者の半数以上は、開催当初より継続されている方が多い。2020年度は、コロナ感染症の影響により、4～5月、11月24日～3月分までが中止となった。

実施年度	実施回数	延べ参加人数	販売書籍
2016（平成28）年	18回	410名	21冊
2017（平成29）年	24回	1,096名	33冊
2018（平成30）年	23回	1,021名	—
2019（令和元）年	19回	611名	2冊
2020（令和2）年	8回	87名	—

【公2】生活支援事業

I 聴覚障害者支援センターほほえみ

1. 地域活動支援センター事業（札幌市補助事業）（定員：15名）

聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進め、重複及び高齢の聴覚障害者に対する障害者福祉サービスを提供した。

(1) 地域活動支援センターほほえみ西

①外出機会が少ない高齢ろうあ者、盲ろう者、難聴者などの交流と日中活動を支援する。

利用時間：（月～水・金・土 10時～15時）

場所：西区二十四軒1条5丁目3-12

内容：交流・教養及び防災訓練等実施、送迎サービス

⑦通所者数・月別(延べ人数) (単位：名)

	20年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年 1月	2月	3月
男性	94	86	129	112	121	118	127	147	76	76	74	111
女性	73	72	105	105	82	100	93	115	36	44	49	73
合計	167	158	234	217	203	218	220	262	112	120	123	184

⑧各区分・登録者数(延べ人数) (単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外
男性	1	2	8	6	5	1	1	1	8	2	0
女性	1	4	4	4	5	0	0	0	3	4	1
合計	2	6	12	10	10	1	1	1	11	6	1

(2) 地域活動支援センターほほえみ厚別

2020年より4月1日より休止

(3) ほほえみ西 年間行事報告

(単位：名)

月 日	内 容	場 所	参 加 者 数				
			利 用 者	ボ ラン テ イ ア	職 員	そ の 他	合 計
2020年 4月15日	スポーツの日	福祉センター	(中止)				
5月20日	学習会	ほほえみ西	(中止)				
6月17日	スポーツの日	福祉センター	(中止)				
6月20日	避難訓練	陵北中学校他	11	4	3	1	19
6月23日	避難訓練	陵北中学校他	6	1	3	0	10
8月19日	社会見学	—	(中止)				
9月16日	スポーツの日	福祉センター	6	2	3	0	11
11月18日	社会見学	—	(中止)				
12月23日	クリスマス会	福祉センター	(中止)				
2021年 3月17日	西11周年お祝い会	福祉センター	(中止)				

(4) 2021年度に向けての課題

①ほほえみ西

- ⑦定員アップを目指し、新規利用者を獲得するため、PR活動の強化を図る。
 ①コロナウィルス感染対策を行いながら、交流できる企画や個々に合った活動内容を考え、利用者に楽しんでもらえる内容を提供する。
 ⑦高齢化に伴い、利用者の生活にも変化が出ており、地域活動支援センターへの通所に関しては他施設や家族との連携を密にしていく。

2. 就労継続支援事業（指定障害福祉サービス事業）

就労継続支援B型事業（定員：35名）

障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業として、聴覚障害者が安心して働くことのできる作業所の運営を行なった。

(1) 利用者数

(単位：名)

	20年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年 1月	2月	3月
利用者数	42	37	40	41	41	42	42	41	40	40	40	40
延べ 利用者数	509	502	658	630	594	610	656	566	610	578	535	668

(2) 行事参加状況

新型コロナウィルス感染防止のため社会見学など自粛した。

(3) 出店バザー

月日	訪問販売・委託販売・バザーネーム	場所
2020年 4月3日	訪問販売	就労継続支援B型事業所 なごみ
4月10日	訪問販売	札幌市産業振興センター
6月5日	訪問販売	和田精密技研株式会社
6月12日	訪問販売	札幌市産業振興センター
6月21日	札聴協理事会 訪問販売	視聴覚障がい者 情報センター
6月26日	訪問販売	就労継続支援B型事業所 なごみ
7月3日	訪問販売	札幌市 産業振興センター
7月9日	北ろう連・札聴協・通訳派遣室 販売	かでる2.7 情報センター
7月9日	手話サークルあゆみの会訪問販売	手稲区民センター
7月10日	訪問販売	和田精密技研株式会社
7月19日	北ろう連理事会 販売	かでる2.7
7月21日	訪問販売	和田精密技研株式会社
7月26日	札聴協臨時総会 販売	社会福祉総合センター

【公益社団法人札幌聴覚障害者協会 2020年度事業報告書】

7月28日	訪問販売	札幌市産業振興センター
7月30, 31日	清田区役所バザー	清田区役所
8月7日	訪問販売	札幌市産業振興センター
9月4日	訪問販売	札幌市産業振興センター
9月10日	北ろう連 販売	かでる2.7
9月17日	手話サークルあゆみの会 訪問販売	手稲区民センター
9月18日	訪問販売	和田精密技研株式会社
9月24日	札聴協事務局・通訳派遣室 訪問販売	視聴覚障がい者 情報センター
9月25日	訪問販売	就労継続支援B型事業所 なごみ
9月30日 10月1日	コープさっぽろルーシー店バザー	コープさっぽろ ルーシー店
10月2日	訪問販売	札幌市産業振興センター
10月6~8日	ナイスハートバザール	アリオ札幌
10月8日	北ろう連 訪問販売	かでる2.7
10月9日	札聴協事務局・通訳派遣室訪問 販売	視聴覚障がい者 情報センター
10月14日	訪問販売	就労継続支援B型事業所 なごみ
10月15~ 16日	清田区役所バザー	清田区役所
10月23日	訪問販売	和田精密技研株式会社
11月6日	訪問販売	札幌市産業振興センター
11月12日	訪問販売	就労継続支援B型事業所 なごみ
11月16日~ 18日	道庁就労施設展示販売会	本庁舎1階 道政広報コーナー
11月19日	札聴協事務局・通訳派遣室 訪問販売	視聴覚障がい者 情報センター
11月27日	訪問販売	和田精密技研株式会社
12月10日	北ろう連 訪問販売	かでる2.7
12月11日	訪問販売	札幌市産業振興センター
12月17日	訪問販売	就労継続支援B型事業所 なごみ
12月18日	訪問販売	和田精密技研株式会社
2021年 1月8日	訪問販売	札幌市産業振興センター
1月14日	訪問販売	就労継続支援B型事業所 なごみ
1月20日	訪問販売	デイサービス ほほえみ白石
1月21日	北ろう連 訪問販売	かでる2.7

【公益社団法人札幌聴覚障害者協会 2020年度事業報告書】

1月22日	訪問販売	和田精密技研株式会社
2月3日	訪問販売	デイサービス ほほえみ白石
2月4日	訪問販売	就労継続支援B型事業所 なごみ
2月5日	訪問販売	札幌市産業振興センター
2月17日	訪問販売	デイサービス ほほえみ白石
2月18.19日	清田区役所バザー	清田区役所
2月26日	訪問販売	和田精密技研株式会社
3月3日	訪問販売	デイサービス ほほえみ白石
3月5日	訪問販売	札幌市産業振興センター
3月11日	訪問販売	就労継続支援B型事業所 なごみ
3月17～ 19日	南地区会バザー	中央区民センター
3月24日	訪問販売	デイサービス ほほえみ白石
3月25日	北ろう連 訪問販売	かでる2.7
3月26日	訪問販売	和田精密技研株式会社

(4) 委託販売場所

	店名	場所
1	元気ショップ	大通東西線コンコース内
2	元気ショップ「いこーる」	札幌駅西コンコース内
3	Ohana E.S 合同会社	市民交流プラザ等
4	円山動物園	西門オフィシャルステーション内

(5) 実習 受け入れ状況

月日	期間	学校名	学年	人数	性別	内容
2021年 3月22日～26日	5日間	北海道教育大学 札幌校	2年	1	男	福祉実習

(6) 見学・取材 受入れ状況

コロナウイルス感染防止のため受け入れを自粛した。

(7) 防災訓練

月日	場所	参加人数			
		利用者数	職員数	その他	合計
2020年 7月31日	ほほえみ作業所	14	3	8	25
9月29日	ほほえみカフェ	8	3	0	11
2021年 2月24日 ～26日	菓子工房ほほえみ	8	3	0	11

3月23日. 26日	菓子工房ほほえみ	10	3	0	13
---------------	----------	----	---	---	----

(8) 送迎サービス

(ア) 事業所間の送迎車での利用：ほほえみ作業所 ⇄ 地下鉄菊水駅

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延回数	192	0	227	217	199	210	193	124	84	83	63	143

(イ) 各事業所 ⇄ 自宅

交通手段	2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
車	事業所	79	159	84	66	69	58	68	66	71	91	118	154
	家族	0	4	0	0	0	0	0	0	21	15	16	0
交共交通機関	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボランティア	2	0	4	7	6	8	8	4	0	0	0	0
徒歩	職員	11	8	28	40	35	46	41	28	27	23	19	8
斜線	回数	92	171	116	113	110	112	117	98	119	129	153	162

(9) ほほえみ作業所

さまざまな体験を通して、一人ひとりの持っている力を活かした就労支援を行なった。

作業時間：月～金 9：30～15：30

場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

内容：下請作業・施設外就労・自主製品制作及び販売、送迎サービス、防災訓練等実施

①取り組み：下請け作業、委託作業、施設外就労など

		作業内容	昨年比
下請け作業	A 社	シール貼作業、エプロン折り作業など	約25万円収入増
	B 社	月～金 毎日、封入作業など	約10万円収入増
	C 社	手提げ袋の裁断、ヒモ付け作業など	増減なし
	D 社	梅にんにく3粒を袋に入れ、シーラーでの真空包装作業	イベント用の梅にんにく封入作業のため、依頼減
	E 社	景品の封入作業など	イベントの景品を扱う会社のため依頼なし

新聞帶封作業	札聴協の新聞と北聴新聞・ほほえみ便りの発行作業	去年と同じ
--------	-------------------------	-------

施設外就労	企業の倉庫内での箱折り、梱包作業など	17回減
-------	--------------------	------

② 授産製品の見直しや工夫による効果

手芸品	注文を受け、テトラ型のポーチを新たに制作した。 その他新しい商品を考え売り上げを増やすよう取り組んでいる。
紙製品	クラフトバッグの注文が定期的に有り大きさの違う数種類の袋製作をした。

③ 作業所の売上推移

(単位：円)

	バザー	ショップ	下請作業	収入計
4月	1,100	7,573	94,733	103,406
5月	8,330	4,400	97,518	110,248
6月	2,925	3,500	78,809	85,234
7月	12,541	5,020	132,963	150,524
8月	4,200	9,160	208,968	222,328
9月	8,866	18,517	103,467	130,850
10月	27,312	12,905	63,024	103,241
11月	1,650	11,410	317,934	330,994
12月	1,850	7,865	221,988	231,703
1月	970	12,455	153,475	166,900
2月	5,535	11,118	132,221	148,874
3月	4,041	7,135	153,884	165,060
合計	79,320	111,058	1,758,984	1,949,362

【成果と目標】

ほほえみ作業所では、新型コロナウイルスの影響を受けイベント関連会社からの依頼が激減した。また、福祉バザーの開催が中止となり収入減となった。しかしシール貼り作業等の依頼が増えたことで売上げを維持することができた。

2021年度は、「畑作業」にも取り組み、年間作業につながるよう取り組んでいきたい。

(10) 菓子工房ほほえみ

社会参加を目的とし売上を伸ばすだけではなく、作業内容を通して生活習慣やマナーなどについても支援した。

作業時間：月～金 9:30～15:30

場所：白石区菊水3条3丁目2-8

内容：菓子・パン製造、販売、送迎サービス、防災訓練等

① 取り組み：現状の把握をしながら、利用者の技術の向上、社会参加を目指す。

製菓・製パン作業	製パンでは、訪問販売に入れ予約を受け付けるなどしたところ販売増に繋がった。リピーターも増えている。製菓では、イベント時の新しい商品開発をすることができた。
ミニショップ	常連のお客様を何名か増やすことができた。開店日数が少ないので今後検討していく。

社会への参加	コロナ感染拡大の影響で外出行事は自粛になったが、落ち着いてきた頃にはほえみカフェでのお食事会を何度か行い、外出できずにストレスが溜まっている仲間の気分転換をすることができた。
--------	---

②来客数・売上

月	ショップ 売上 (単位：円)	その他売上 (単位：円)	菓子工房 売上 (単位：円)	来客数 (単位：名)	営業日数 (単位：日)
4月	21,019	29,173	50,192	29	8
5月	24,840	10,539	35,379	9	2
6月	51,857	31,452	83,309	67	12
7月	31,639	65,441	97,080	40	11
8月	34,253	43,786	78,039	48	11
9月	31,041	56,182	87,223	63	11
10月	37,947	113,820	151,767	54	10
11月	15,457	51,762	67,219	38	7
12月	49,002	63,422	112,424	63	11
1月	38,282	47,804	86,086	64	10
2月	24,615	112,587	137,202	43	9
3月	61,763	45,821	107,584	57	13
合計	421,715	671,789	1,093,504	575	115

③新しい取り組みと効果

農家からの委託作業	小豆の脱穀や大豆選別の作業を請け負った。脱穀は全員が携わり、今まで出来ることに制限があった仲間も仕事の幅を広げることができた。農業や食べ物についての興味や知識を高めることができた。
-----------	--

【目標】

菓子工房ほほえみでは、製菓、製パン作業を通してやりがいのある仕事を提供し、社会参加につながる経験ができるように取り組みを続ける。

(11) ほほえみカフェ

菓子製造・喫茶業務の仕事の他、今年度から請け負った下請けの仕事を通して、新たな可能性を広げられるよう就労支援を行った。

作業時間：火～土 9：30～15：30

場所：豊平区豊平3条7丁目1-1

内容：菓子・ケーキ製造、販売、接客、調理補助、清掃等

①来客数・部門別売上

月	人数(名)	カフェ部門(円)	菓子部門(円)	手作り品等(円)	計 (円)
4月	77	39,867	180,879	84,050	304,796
5月	0	3,300	57,037	174,250	234,587
6月	131	56,548	155,657	291,285	503,490
7月	175	95,121	292,811	160,160	548,092
8月	185	96,915	166,110	101,400	364,425

【公益社団法人札幌聴覚障害者協会 2020年度事業報告書】

9月	240	124,884	172,561	124,450	421,895
10月	246	121,191	405,070	95,850	622,111
11月	152	69,213	175,298	149,450	393,961
12月	145	78,308	551,055	140,550	769,913
1月	146	73,150	111,976	139,350	324,476
2月	123	62,284	419,607	175,850	657,741
3月	130	83,206	191,509	253,700	528,415
計	1,750	903,987	2,879,570	1,890345	5,673,902

②ギャラリー貸出、イベント

内容	期間	詳細・実績等
ギャラリー 無料貸出	4月	丸山博文 様 個展
	5月	中止
	6月	熊倉様 パステル和アートNAGOMI
	7月～8月	元田好子 様
	9月～10月	デフフォトクラブ 写真展
	11月	地域活動支援センター
	12月	ワークショップ「実の里」様 利用者さんの絵画
	1月～2月	絵手紙教室
	3月	ぶんれい一座の絵手紙展
手話サロン	第2水曜日	中止
絵手紙教室	第1、第3 木曜日	中止

③取り組み

期間	内容
4月～	フェースシールド・マスク製作・販売
4月～8月	エル・クオール訪問販売（1回/月）
4月～3月	さっぽろ産業訪問販売、なごみ訪問販売、 和田歯技研訪問販売、道民活動センター訪問販売
4月～3月	ハワイスクーン委託製造
10月	ハロウィーンケーキ販売
12月	クリスマスケーキ販売
1月	マスクケース製作・販売
2月	バレンタインケーキ販売

【成果及び目標】

2020年度前半は、新型コロナウイルス拡大の影響を受け、バザーや訪問販売が中止となり、菓子製造の機会や来客数が大幅に減った為、収益に影響があった。

そのような中、利用者と職員が話し合いを重ねフェイスシールドやマスクケースなどの新商品開発に力を入れた。また新たに下請け会社と契約が出来き、下請け作業にも取り組んだ。バザーの機会は少なかったが、徐々に訪問販売が再開され、クリスマスなどのイベントのお菓子販売も好調だった為、収入の補填ができた。

2021年度も新商品の開発に力を入れ、販売先の新規開拓にも努め、売り上げ増を目指したい。

(12) ほほえみ食堂

調理・接客業務の仕事を通して新たな可能性を広げる就労支援を行なった。

作業時間：月～金 9:30～14:30

場所：西区二十四軒2条6丁目札幌市身体障害者福祉センター内

内容：調理・接客、販売、清掃等

来客数・売上			
月	人数(名)	営業日数(日)	食堂・収入(円)
4月	264	19	112,850
5月	371	16	134,700
6月	475	20	193,050
7月	377	19	153,750
8月	375	17	147,500
9月	350	18	138,000
10月	354	19	135,700
11月	212	16	89,650
12月	98	12	48,600
1月	91	12	45,300
2月	97	11	64,300
3月	68	6	44,750
計	3,132	185	1,308,150

【成果及び目標】

ほほえみ食堂では、2020年3月から新型コロナウィルス拡大の影響でセンターが休館。通常の食堂業務が出来なくなつたため、他事業所の利用者、職員に対しての弁当販売とマスク作り等を行つた。8月17日より、一部センターが開館。様々な条件付きで、予約販売が行えるようになった。

しかし、センターの行事が次々と中止になつたため、昨年比大幅な売り上げ減となつた。

そのような中、利用者と職員が話し合いを重ね、少ないお客様にも喜んでいただけるようなイベントやお得メニューなどを工夫した。

2021年度は、衛生面でも十分注意し、また利用者の健康面でも配慮したい。

3. 共同生活援助事業（指定障害福祉サービス事業）

聴覚障害者グループホームよつば（介護サービス包括型）

（入居定員よつば5名、さくら3名）

【公益社団法人札幌聴覚障害者協会 2020年度事業報告書】

障害者総合支援法に基づく共同生活援助事業として、聴覚障害者が安心して生活できる場所の運営を行った。

入居者に合わせた手厚い支援ができるよう、4月から外部サービス利用型から介護サービス包括型に変更した。

家族などから希望のあった女性用グループホーム“さくら”を5月に開所した。

① 利用者数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
よつば	149	148	148	153	152	146	153	148	155	152	139	153
さくら	—	4	67	76	88	86	63	47	62	57	84	93

② 行事

⑦防災訓練 5回実施

月日	場所	参加人数				合計
		入居者	職員	その他		
2020年 8月28日	さくら内	3	2	0		5
9月17日	よつば内	5	3	0		8
2021年 2月4日	さくら内	0	3	0		3
2月22日	よつば内	5	3	0		8
2月23日	さくら内	3	1	0		4

⑧外出レクレーション

月日	場所	参加者数				合計
		入居者	職員	その他		
2020年 8月27日	札幌ドーム見学	3	2	0		5
10月18日	ぶどう狩り(田中果樹園)	5	3	0		8
2021年 3月20日	豊平公園散歩	4	2	0		6

*新型コロナウイルス感染予防のため、予定通りに外出レクレーションを実行できなかった。季節の行事については室内でできるものは随時行っている。

1月に定期健康診断受診（勤医協札幌病院）を行った。

⑨わたしの日

月日	希望	場所	入居者	職員
2020年 7月 7日	パフェとお寿司を食べて買いたい。	札幌駅周辺・ファイターズショップ [®]	1	1
8月1日	花や景色の写真を撮りたい。	滝野すずらん公園・テレビ塔	1	1
8月13日	お父さんのお墓参りがしたい。	某墓地	1	1
9月20日	飛行機を見に行きたい。 おいしいものを食べたい。	新千歳空港	1	1
9月26日	ゆっくり買い物がしたい。 店で甘い物を食べたい。	イオン	1	1

*入居者の誕生日当日もしくはその前後に行った。

事前に行きたいところや同行職員の希望をだしてもらい、時間をかけてその日の予定を同行職員と一緒に計画し願いを実現する日とした。

③見学者

月日	年齢	性別	見学内容
2020年6月3日	20代	女	入居相談・施設見学
12月19日	40代	女	入居相談・施設見学

【取り組みと成果】

- ・生活習慣病の予防、改善のため、白石区保健センター栄養士から栄養指導を受けた。その結果、食事提供内容の改善に繋がった。
- ・避難訓練の中で、地震災害の映像を視聴した。説明するだけでなく映像を観ることで、災害の恐ろしさや自分は何ができるかなど意識づけに繋がり防災意識を高めることができた。

【目標】

生活習慣病の予防、改善のため、ウォーキング等の運動を促し、健康に留意した食事の提供を行う。また、持病などを理解できるよう働きかけ、より健康に暮らせるよう取り組んでいきたい。

4. 職員研修

(地域活動支援センター・就労継続支援B型事業所・共同生活援助事業所)

月日	研修内容	担当・講師等	参加者	
			人数	対象
2020年5月7日	「新型コロナウィルス感染防止対策・施設内発症者への対応と職員体制」「感染症発生時の感染物などの消毒方法」「衛生マニュアル確認」	内部研修	4	GH職員
6月8日	新型コロナウィルス感染への対応	日本看護協会認定感染管理認定看護師 村中生美氏	3	作業所 GH職員
9月1日	コロナウィルス感染症対策に関する研修	札幌市保健福祉局	16	全職員
9月10日	HACCPを取り入れた衛生管理について	札幌市保健所	2	衛生管理責任者
10月6日	「キャリアパス制度導入支援事業」学習会	労働安全センター 北海道支部	6	B型 GH職員
11月28日	全職員研修「札聴協事業方針・事業運営について」	公益社団法人札幌聴覚障害者協会理事長渋谷雄幸氏・京野事務局長	19	全職員
12月1日. 2日	サービス管理責任者研修 受講	札幌市障害福祉課	1	B型職員

【公益社団法人札幌聴覚障害者協会 2020年度事業報告書】

12月4日	全国ろう重複協施設長会議「ピアサポート」他	聖学院大学 相川章子氏他	2	B型 GH職員
12月11日	パン酵母について他	日本甜菜製糖株式会社	1	菓子工房
2021年 1月12日	障害福祉サービス事業所等感染症対策オンライン研修	国立感染症研究所 山岸拓也氏他	4	B型 GH職員
2月19日	全国ろう重複協会主任指導員会議「報酬改定におけるろう重複協の動き」	全国ろう重複障害者協会	4	B型 GH職員
3月1日	オンライン講座「障害者虐待防止啓発講座」	札幌市社会福祉協議会	4	B型 GH職員
3月18日	令和3年度報酬改正学習会	全国脊髄損傷者連合会 札幌支部	2	B型職員

5. 聴覚障害者支援センターほほえみ事業運営委員会

構成：団体等個人に運営委員を委嘱

期間：2020年4月～2021年3月（年3回実施）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	備考
第1回	2020年4月18日	0名	新型コロナウイルス 感染拡大のため急遽中止
第2回	8月29日 13:00～15:00	10名	通常開催
第3回	2021年1月16日 10:00～12:00	9名	オンライン参加：3名 会場参加：6名

運営委員：

北海道高等聾学校：菊池涼教諭

北海道札幌聾学校：飯出広行教頭

札幌手話サークル連絡協議会：中村博子副会長、藤波貞子広報部長

札幌手話通訳問題研究会：森川僚事業部次長、佐藤薰会計部次長

聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：樋口道雄事務局長

那須美枝子会計部長

聴覚障害者支援センターほほえみ

就労継続支援B型事業所ほほえみ作業所：柏崎弘子所長

ほほえみカフェ：秋井利江店長

聴覚障害者支援センターほほえみ

地域活動支援センター：岩崎剛所長

(公社) 札幌聴覚障害者協会：宮内博子副理事長、佐藤正昭理事

【福祉・労働部より】

- ・新型コロナウイルス感染防止のため参加者の健康・安全を第一に考慮しオンライン参加の対応も行った。各所長より事業報告の後、質疑応答、意見交換や情報交換を行った。今後も運営委員から意見交換とアドバイスをいただきながら、より良い運営を行っていく。

6. 聴覚障害者支援センターほほえみ後援会主催の街頭募金活動（参加協力）
コロナ禍のため実施なし。

II 字幕・手話付き映像作品の制作

1. 聴覚障がい者向け映像資料制作事業（札幌市委託事業）

札幌市の聴覚障害者のニーズを把握し、聴覚障害者への情報提供に資する貸出用ビデオ、札幌市政に関するインターネット配信用動画を制作した。

期間：2020年4月～2021年3月（年間）

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター聴覚障害者情報提供施設事務室
内容：年間33本制作（内訳は以下のとおり）

（1）講座撮影・教材 6本

分類	タイトル	時間(分)
講座 (3本)	古手話と新しい手話	75
	手話ミニ講演シリーズ「私のこと」	28
	手話ミニ講演シリーズ「私の人生・アジアデフサッカー選手権」	30
教材 (3本)	マスクを作つてみよう	13
	手話を読み取ろう！ろうあるある編	18
	手話を読み取ろう！2020年度	47

（2）ニュース 12本

タイトル	時間(分)
札幌聴覚障がい者ニュース（2020年4月号）	7
① 2020年度新規札幌市登録手話通訳者	
札幌聴覚障がい者ニュース（2020年5月号）	13
① ほほえみカフェでフェイスシールド作り	
札幌聴覚障がい者ニュース（2020年6月号）	11
① 地活ほほえみ西が福祉センター近くに移転	
札幌聴覚障がい者ニュース（2020年7月号）	27
① 煙で育てたキュウリでジュース作り	
② 札幌ろうあ老人クラブで誕生会開催	
札幌聴覚障がい者ニュース（2020年8月号）	19
① 老人クラブで健康体操	
② 認知症を理解する学習会	
札幌聴覚障がい者ニュース（2020年9月号）	29
① お口の健康と認知症予防	
② 地活ほほえみ西でじやがいも掘り	
札幌聴覚障がい者ニュース（2020年10月号）	30

① 北区手話サークルとの研修交流会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2020年11月号)	12
① 遠隔要約筆記の実証実験	
札幌聴覚障がい者ニュース(2020年12月号)	12
① ほほえみの郷クリスマス会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2021年1月号)	13
① お正月の思い出	
札幌聴覚障がい者ニュース(2021年2月号)	13
① 第14回中級手話教室オンライン修了式	
札幌聴覚障がい者ニュース(2021年3月号)	19
① 言葉から見える社会	

(3) 自主企画制作 5本

タイトル	時間(分)
ラベンダースティック作り	17
北海道観光シリーズ函館&紅葉	33
2020年度札幌市手話動画集（1）	24
魚釣りしてみたよ	28
2020年度札幌市手話動画集（2）	21

(4) インターネット配信用映像（札幌市政に関する内容）10本

タイトル	時間
マスク送り付け商法に注意してください	4分22秒
給付金・助成金を装った詐欺にご注意ください	4分31秒
NET119緊急通報システムによる119番通報	6分2秒
使用済みボタン電池のリサイクルについて	4分56秒
犯罪被害者等支援制度のご案内	4分12秒
特別定額給付金の偽サイトにご注意ください	2分8秒
新型コロナウイルス感染症FAX相談用紙をご利用ください	8分14秒
消毒用アルコールの安全な取扱いについて	4分38秒
飛沫防止用シートの火災にご注意ください	2分40秒
トイレ修理の高額請求に注意！	3分25秒

2. 「目で聴くテレビ」用ビデオ制作

認定NPO法人障害者放送通信機構「目で聴くテレビ」へ『札幌デフビデオ』12本（毎月1本）の他、「それいけ！くいしんぼ」1本を提供。

3. 職員研修

「令和2年度聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会」
※新型コロナウイルスの感染拡大により中止

4. 令和2年度市長記者会見に係るインターネット配信用映像データ（手話動画付き）動画制作業務

・令和2年度市長記者会見 開催回数（合計34回）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定例	2	1	2	2	1	1	2	2	1	2	1	1	18
臨時	2	4	0	0	1	1	1	1	1	1	2	2	16
合計	4	5	2	2	2	2	3	3	2	3	3	3	34

5. その他の札幌市委託事業（単発事業）

札幌市長メッセージ 動画制作（5本）	札幌市広報課
サッポロスマイルトーク 動画制作（1本）	札幌市広報課
札幌市手話講習会 動画制作（5本）	札幌市障がい福祉課
札幌市遠隔手話通訳サービス 動画制作（2本）	札幌市障がい福祉課

III 字幕・手話付き映像作品及び情報機器の貸出等

1. 聴覚障がい者向け映像資料等貸出事業（札幌市委託事業）

（1）業務内容

- ①聴覚障がい者の文化享受の増進を図るために、聴覚障がい者に対して、字幕または手話付き映像資料等の貸出を行なった。
- ②聴覚障害者の利便に資する情報機器を展示し、情報機器の啓蒙・啓発を行なうとともに、機器の利用に関する相談に応じた。
- ③パソコンを聴覚障がい者に対し利用開放するとともに、操作方法等の指導を行なった。
- ④聴覚障害者情報提供施設内の受付・案内業務等、聴覚障害者情報提供施設にかかる事務を行なった。

(2) 期間：2020年4月～2021年3月

(3) 場所：市視聴覚障がい者情報センター2階貸出室

(4) 開室時間

曜日	開室時間
月曜日・火曜日	10時～17時
水曜日	10時～20時45分
木曜日	10時～19時
金曜日	10時～20時30分

（5）貸出内容

①聴力障害者情報文化センター（東京）制作ビデオ等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	0	0	5	8	2	11	11	13	10	11	5	0	76
利用人数	0	0	1	5	1	5	6	5	4	8	2	0	37
利用件数	0	0	1	2	1	5	7	6	4	7	2	0	35

②札幌市委託事業で札聴協が制作したビデオ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	3	0	8	32	38	44	76	47	32	43	17	28	368
利用人数	4	0	35	110	113	69	88	91	76	37	33	11	667
利用件数	2	0	3	20	24	22	45	35	23	15	10	11	210

【公益社団法人札幌聴覚障害者協会 2020年度事業報告書】

③情報機器利用貸出(ビデオ、DVD閲覧、IT閲覧、「目で聴くテレビ」閲覧、プロジェクター利用)
(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ビデオ閲覧	0	0	0	0	0	3	5	5	0	1	0	0	14
IT閲覧	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
目で聴く閲覧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手話学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロジェクター	5	0	0	13	6	6	14	7	3	2	6	13	75
OHC	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	5	0	0	14	6	11	19	12	3	3	6	13	92

(6) 貸出対象者：北海道内に住所を有する次の者

- ①身体障害者手帳の交付受けている聴覚障がい者（児）及び保護者
- ②聴覚障がい者関係団体、学校及び施設
- ③手話通訳に係るボランティアなど聴覚障がい者の福祉向上に関心がある者

2. 全国各地の聴覚障害者団体の機関紙閲覧

全国各地の聴覚障害者団体から送られてくる機関紙をビデオ・情報機器利用貸出室で自由に閲覧できるように随時、整理した。

3. 札幌市視聴覚障がい者情報センター 見学対応

(見学場所：ビデオ・情報機器利用貸出室、スタジオ、聴能言語訓練室、手話通訳者派遣室)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個人(件)	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
人数	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4

IV 聴覚障がい者社会生活教室の開催

札幌市聴覚障がい者社会生活教室開催等事業（札幌市委託事業）

聴覚障害者の生活相談及び生活支援に対応し、必要な知識の習得や情報交換を目的とし行なった。

1. 聴覚障がい者社会生活教室の開催

障害者総合支援法の「生活訓練等事業」に基づき、①職場生活②コミュニケーションの方法③家庭の生活設計④育児⑤芸術、文化等一般教養⑥人間関係等に関する内容の教室を開催した。

期間：2020年4月～2021年3月

（年30回開催、うち協会各区支部で2回ずつ開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター・各区民センター他

参加対象：札幌市内存住で身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者

(1) 社会生活教室開催状況

月日	テーマ	講師 ※敬称略	参加者
4月 4日	終活	澤 知里(NPO 法人葬送を考える市民の会)	12名
6月 7日	上手なお片付け	佐藤 真美(整理収納アドバイザー)	12名
7月 12日	家庭での火災対策	大野 有子(札幌市白石消防署予防課防火推進係長)	10名
8月 29日	四季を通しての災害対処方法	横内 春三(北海道防災教育アドバイザー)	10名
9月 6日	体の凝りをほぐそう！スクワットからの学び	岸田 直隼(Good 治療院 院長)	11名
9月 10日	お口の健康と認知症予防	十倉 奈美(勤医協もみじ台歯科診療所 歯科衛生士)	32名
9月 13日	段ボールと生ごみで堆肥(肥料)を作ろう！	石塚 裕江(NPO 法人北のごみ総合研究所 理事)	1名
9月 27日	冬に災害が起きたら気を付けることは？	森山 知洋(HBC ウェザーセンター 気象予報士)	20名
9月 27日	NET119緊急通報システムについて	佐々木 亮(札幌市消防局警防部消防救助課システム係)	20名
10月 3日	段ボールで生ごみの堆肥化	内山武志・東飛郎(リサイクルプラザ宮の沢)	12名
10月 8日	生前整理を始めよう	佐藤 真美(整理収納アドバイザー)	26名
10月 11日	知ってるつもり？！水害＆避難所対策	金村 直俊(北海道防災教育アドバイザー)	13名
10月 25日	おなか健康教室	板垣 江理奈(札幌ヤクルト販売株式会社広報室腸トレセポーター)	6名
10月 25日	整理・整頓・お片付け	佐藤 真美(整理収納アドバイザー)	12名
10月 31日	With コロナ時代の避難行動	金村 直俊(北海道防災教育アドバイザー)	10名
11月 1日	3B 体操で心身をリフレッシュ！	佐藤 詠子(日本3B 体操協会公認指導者)	16名
11月 8日	キャッシュレスは新時代へ！	横井 規子(金融広報アドバイザー)	6名
11月 8日	NET119緊急通報システム	佐々木 亮(札幌市消防局警防部)	8名
11月 8日	もしも地震が起きたら	水口 綾香(防災ライフプランナー)	8名
11月 15日	風通しの良い生き生きライフを	平野 由美(NPO 法人北のごみ総合研究所会員)	7名
11月 15日	多様な葬儀の形とは	澤 知里(NPO 法人葬送を考える会)	11名
12月 18日	NET119緊急通報システム	佐々木 亮(札幌市消防局警防部)	9名
1月 14日	琴似屯田兵の歴史	永峰 貴(琴似屯田子孫会事務局長)	16名
2月 7日	110番アプリの使い方	北海道警察本部通信指令課職員※中止	—
2月 7日	ボッチャを体験しよう！	菊池 ひとみ(ドリームボッチャ札幌事務局)	20名
2月 28日	歴史講座・大通の謎	高橋 悟(札幌市生涯学習センター市民講師)	14名
2月 28日	ふと迷う日常のマナー	中村 純子(中村純子きもの・礼法教室)	11名
3月 11日	言葉から見える社会	佐藤 英治(北海道石狩翔陽高等学校 非常勤講師)	22名
3月 15日	新しい手話を楽しく学びましょう！	若浜 ひろ子(日本手話研究所標準手話確定普及研究部北海道班 研究員)	7名
3月 28日	水害時の避難と注意	水口 綾香(防災ライフプランナー・フジカン代表)	7名

(2) 月別開催回数および参加者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	1	0	1	1	1	5	6	6	1	1	4	3	30
参加者数	12	0	12	10	12	84	79	56	9	16	45	36	371

(3) 支部別参加人数

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
テーマ「災害関係」	7	10	8	10	20	なし	10	8	13	20
テーマ「災害以外」	11	12	11	12	20	6	12	12	7	11

※豊平区支部は「災害関係」の開催なし

V 聴能言語訓練の実施

札幌市聴能言語訓練事業の実施（市委託事業）

コミュニケーション手段に著しい障がいを有する聴覚障がい者に対し、その聴力の損失の程度により、残存聴力の活用、聴覚以外による言葉の習得の訓練を行ない、聴覚障がい者の自立を図るとともに社会の適応を高める訓練を実施した。

期間：年間82回

場所：市視聴覚障がい者情報センター聴能言語訓練室

訓練内容：聴力測定、補聴器のフィッティング、補聴器装用訓練、発声・
発語訓練、日常生活訓練対象：市内に居住する身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者・
失語症者

①障がい別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障がい	2	0	1	10	7	7	4	3	5	4	4	3	50
中途失聴	0	0	0	3	2	4	4	1	1	0	0	0	15
重複障がい	2	0	3	8	8	8	8	7	9	9	8	4	74
言語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
失語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	0	4	21	17	19	16	11	15	13	12	7	139

②内容別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内容概説	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構音	1	0	0	4	4	3	0	0	0	0	0	0	12
総合練習	3	0	4	12	11	12	12	7	0	0	0	4	65
読話	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	5

その他	0	0	0	1	1	2	2	4	15	13	12	3	53
合計	4	0	4	21	17	19	16	11	15	13	12	7	139

備考

- ・新型コロナウイルスの感染予防のため、一部郵便物による指導を行った。

VI 電話リレーサービス事業の実施（国補助事業）

聴覚障害者が一人で電話を掛けられるよう電話リレーサービス（聴覚障害者が聞こえる者と電話する際に、通訳者が間に入って手話や文字で通訳するサービス）の提供体制を構築することで、聴覚障害者の地域生活における自立の推進に資する事を目的に実施した。

- ・北海道・東北ブロック（札幌・宮城・福島共同）として実施。

稼働時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10時～14時	福島	宮城	札幌	札幌	福島
14時～18時	宮城	宮城	札幌	札幌	福島

サービス提供日時：月曜～金曜 10時～18時

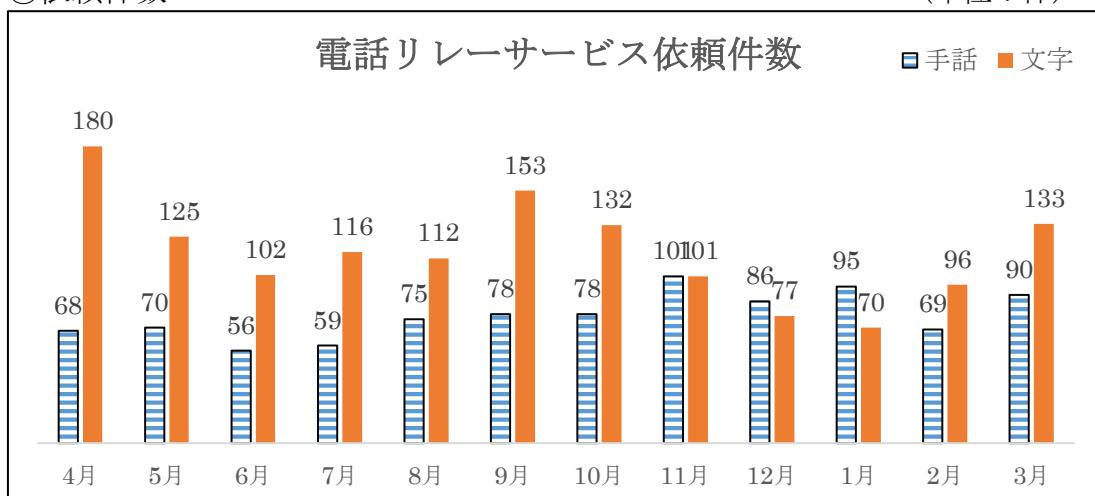
1日8時間(祝日・年末年始は休み)

場所：市視聴覚障がい者情報センター 法人事務室

期間：2020年4月～2021年3月

対象：電話リレーサービスの利用申請をした聴覚障害者

①依頼件数 (単位：件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手話	68	70	56	59	75	78	78	101	86	95	69	90	925
文字	180	125	102	116	112	153	132	101	77	70	96	133	1,397
聴者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
合計	248	195	158	175	187	231	210	202	163	167	166	223	2,325

【公益社団法人札幌聴覚障害者協会 2020年度事業報告書】

②依頼内容

(単位：件)

依頼内容	内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問合せ・相談	手話	36	30	29	25	40	35	36	46	37	44	27	40	425
	文字	100	65	44	49	45	68	55	43	32	29	39	59	628
予約・キャンセル	手話	8	12	8	11	15	13	13	20	11	18	15	15	159
	文字	26	21	27	29	32	44	41	31	17	21	34	35	358
確認・連絡	手話	16	19	15	21	15	26	19	27	26	29	21	27	261
	文字	44	23	24	26	21	31	26	20	22	15	16	29	297
買い物・注文	手話	0	1	2	0	1	1	1	3	3	2	1	2	17
	文字	2	4	0	1	4	2	2	2	4	3	1	6	31
仕事・業務連絡	手話	0	3	0	0	0	0	1	3	1	0	0	3	11
	文字	2	1	4	0	0	1	1	3	1	0	0	1	14
その他	手話	0	5	2	2	4	3	8	2	8	2	5	3	44
	文字	14	11	3	11	10	7	7	2	1	4	7	3	80
総合計	手話	60	70	56	59	75	78	78	101	86	95	69	90	917
	文字	188	125	102	116	112	153	132	101	77	72	97	133	1,408

研修及び会議

①電話リレーサービス事業・実施事業所意見交換会

日時：2020年8月20日（木）10：00～12：00

場所：各事業所・オンライン

内容：「電話リレーサービスセンター（仮称）」に係る意見交換

派遣者：京野事務局長・宮本眞知子職員

②電話リレーサービス事業・実施事業所会議

日時：2021年2月8日（月）10：00～11：30

場所：各事業所・オンライン

内容：電話リレーサービスに関わる現状の確認および意見交換

派遣者：京野事務局長・宮本眞知子職員

VII 聴覚障害者情報提供施設事業運営会議

構成：札幌市・札幌市視聴覚障がい者情報センター・札幌手話サークル連

絡協議会・札幌手話通訳問題研究会・（公社）札幌聴覚障害者協会

期間：2020年4月～2021年3月（年間2回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月 日
1	(延期) 2回目と合わせて1回の書面会開催とした
2	1月25日（月）～29日（金）（書面開催）

時間：15：00～17：00

出席者：札幌市：(障がい福祉課)

札幌市視聴覚障がい者情報センター所長

札幌手話サークル連絡協議会

札幌手話通訳問題研究会

（公社）札幌聴覚障害者協会：渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事

長、高嶋正博常務理事、京野大樹事務局長、亀田雅春職員
内 容：情報提供施設が行う事業についてコロナ禍の対策等を報告した。

VIII その他（会議等）

①特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会
2020(令和2)年度総会

提案日：2020年6月12日付
書面により施設長から同意書を提出した。

②全国聴覚障害者情報提供施設協議会令和2年度第1ブロック（北海道・東北地区）活動研修会

コロナ禍のため、オンライン（Zoom）で開催。今年度から北海道聴覚障がい者情報センターが加わった。

日時：2020年11月6日（金）14：00～16：00

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター（オンライン）

内容：「電話リレーサービス・遠隔手話サービスについて」をテーマに
報告・情報交換。その他、各施設の運営について情報交換。

出席者：京野大樹事務局長、渋谷悌子課長
札幌市視聴覚障がい者情報センター 佐野孝道所長

③カルチャーナイト2020

日時：2020年7月17日（金）～19日（日）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

【公3】啓発・広報事業

I [中止] ろうあ者への理解促進を図る「耳の日市民のつどい」の開催

3月3日の耳の日を記念して、聴覚障害者と手話を学ぶ市民、また一般の市民の方々と手を取り合って明日への生きる喜びを分かち合い、市民に対して、ろうあ者の存在と理解を広げる啓発を目的とする。

耳の日事業「第43回耳の日市民のつどい」

期日：2021年3月7日（日）

会場：共済ホール

内容：全日本ろうあ連盟製作映画「咲む」上映

対象：聴覚障害者、手話サークル員、一般市民等

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い安心・安全な形での開催は難しいと判断し、2020年12月20日（日）の理事会で中止することに決定した。

II ろうあ者と聞こえる人の交流の場となる「札幌ろうあ者文化祭典」

私たちろうあ者のコミュニケーションと文化の窓であり、ひいては社会

的権利とも深い関わりを持つ「手話」を、福祉関係者・教育関係者・医療及び職場の方々など多勢の市民に理解していただき、お互いに自由に心を通わせることをめざして企画を立てた。

1. 文化祭典事業「第45回札幌ろうあ者文化祭典」

期日：2020年10月4日（日）

会場：札幌市身体障害者福祉センター

対象：聴覚障害者、手話サークル員、手話通訳関係者、手話を学ぶ市民等

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、この行事を開催するかどうか各区支部や専門部、各部署、3団体他にアンケートを取った結果、中止した方がよいと意見が多かったため理事会で中止の承認を得て中止とした。

III 聴覚障害者に関する研修会等の開催

聴覚障害者の福祉増進のために必要な調査と研究を進め、聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進めるために研修会へ参加した。

1. 聴覚障害者の福祉増進に寄与する研修会、フォーラム等の開催参加

(1) [中止] 公益社団法人北海道ろうあ連盟道央ブロック研修会

期日：2020年12月6日（日）

場所：北ガス文化ホール（千歳市）

内容：「全日ろう連からの課題について」

「手話言語条例による各協会の情勢について」

「コロナ禍の影響による活動制限について」

(2) 2020年度公益社団法人北海道ろうあ連盟リーダー育成研修会への参加

期日：2020年12月13日（日）

場所：6カ所会場（札幌、旭川、釧路、帯広、函館、千歳）

内容：テーマ「ろう協会・運動の未来のために」（オンライン）

協会の状況（会員の状況、加盟協会の状況）

意見交換（手話言語条例について、各地域協会の事業報告等）

派遣者：渋谷雄幸理事、金原浩之理事、宮内博子理事、中和彦理事、

福島太郎理事、佐藤尚行理事、越智誠理事

(3) 2020年度 北海道ろうあ連盟スポーツリーダー育成 研修会

主催：公益社団法人北海道ろうあ連盟スポーツ委員会主催

期日：2021年1月17日（日）

場所：道立道民活動センター（かでる2・7）

内容：講演「パラリンピックと私」

講師：永瀬 充 氏（北海道新聞パラスポーツアドバイザー）

派遣者：越智誠理事

(4) 第23回ろうあ者労働問題フォーラムへの参加（主催：北ろう連）

期日：2021年1月24日（日）

場所：道立道民活動センター（かでる2・7）

内容：オンライン講演「全国における障害者雇用の状況と

聴覚障害者が働きやすい職場をさせるためには」

講師：岩山 誠 氏

(一般財団法人全日本ろうあ連盟 福祉労働委員会)

派遣者：野口和伸理事、京野大樹理事

(5) 第21回ろう教育フォーラムin北海道への参加

期日：2021年2月21日（日）

場所：道立道民活動センター（かでる2・7）

内容：オンライン講演

「ろうの子どもたちが自分探しできる聴覚障害教育」

講師：松崎 丈 氏

(国立大学法人 宮城教育大学

特別支援教育講座 聴覚・言語障害教育コース

准教授(教育学博士)

しうがい学生支援室専門部会委員)

派遣者：中和彦理事、福島太郎理事、越智誠理事

2. [中止] 第13回札幌合同研修会（札聴協・札通研）

(1) 第13回札幌合同研修会の開催

札聴協・札通研がともに研修会を開催し、共通する課題に取り組み、今後の各団体の組織的活動に活かすことを目的として開催する。

期日：2020年11月28日（土）～11月29日（日）

会場：札幌市社会福祉総合センター4階 大研修室・視聴覚兼会議室

内容：講演会、パネルディスカッション、分科

【組織部】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い札通研と話し合った結果、安心・安全な形での開催は難しいと判断し、2020年6月21日（日）の理事会で中止することに決定した。

来年度は、新型コロナウイルス感染症とともに開催できる方法として、オンラインでの開催も考えた上で札通研と検討ていきたい。

IV 「H S K札聴障（札幌聴覚障害者協会新聞）」の発行

「H S K札聴障」の発行事業

聴覚障害者のため幅広く福祉を提供するとともに聴覚障害者に対する理解と啓発を促すため、機関紙「H S K札聴障」を発行した。

期間：2020年4月～2021年3月（毎月1回発行・年間12回）

発行部数：700部

対象：札幌市内の聴覚障害会員、賛助会員、購読会員、行政、関係機関等

2020年度発行内容：以下、1面見出し

4月号	2020年度がスタート 一部の事業が変更に
5月号	新型コロナウイルス感染拡大により 札幌も緊急事態宣言！

6月号	公益社団法人札幌聴覚障害者協会 第10回定時社員総会 書面による同意書で決議
7月号	新型コロナウイルスの感染者数がようやく減少 2カ月ぶりに開館！
8月号	新型コロナウイルス感染症の影響による収入減のため「長期借入金」の議案を提出 臨時社員総会が開催される！
9月号	「新しい生活様式」で新型コロナウイルス感染症を防ごう 皆さんに気を付けてほしいこと
10月号	上映会、全国各地にて開催中！ 「咲む」北海道での最初の上映会は室蘭で開催！
11月号	第8回（通算第71回） 全日本ろうあ連盟評議委員会がオンラインで開催！
12月号	新型コロナウイルス感染者が全国各地で急増中！ 相談窓口にFAXで相談するための様式が追加
1月号	迎春 2021年新年のあいさつ
2月号	札幌市手話通訳者派遣事業が拡充します 遠隔手話通訳サービスが開始せまる！！
3月号	国内でワクチン接種が始まるも・・・ 新型コロナワクチンってなんだろう？

【広報部】

- ・新年号を除き、毎号、札聴協事業に関する情報を掲載した。隨時、札幌聴覚障害者協会各区支部、専門部等の社会生活教室の呼びかけや報告を掲載した。
- ・新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識や情報を掲載し、配信をした。
- ・購読会員に対して購読料振込についての記事を掲載し、締切を明記した。

V インターネットでの各種情報の提供

情報を隨時更新して聴覚障害者への理解を深め、札聴協の事業を広める啓発活動を独自に制作した内容でインターネットにより進めた。

1. ホームページ「公益社団法人札幌聴覚障害者協会」

ワードプレス（ブログ投稿用ソフト）を活用して更新した。

行事のアピールの際はバナー広告を作成し、トップページに掲載した。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、トップページに札幌市等のリンク、札幌市手話動画「新型コロナウイルス感染症FAX相談用紙をご利用ください」等をホームページで見れるように掲載した。

様々な事業所のPR、または出版やほほえみのお菓子等のPRも掲載した。

2. 札聴協情報メール

メール配信希望の会員に対し、情報提供のメールを隨時発信した。

2020年度発信数：No. 850～960 111件

※登録者数：正会員 97名・賛助会員 51名

【収益等事業】

【収1】出版事業

1. 出版事業

手話を学ぶために必要な書籍や聴覚障害に関する書籍を販売した。

※下記に特に売り上げの多かった書籍を掲載。 (2020年度売上状況)

書籍名	発行者	販売数
I 小売販売		514冊
1) 全日本ろうあ連盟発行書籍		290冊
① 手話を学ぼう 手話で話そう (入門・基礎・手話通訳)		192冊
② 新しい手話 (2019年・2020年・2021年)		45冊
③ 講義テキスト (旧・新)		33冊
④ わたしたちの手話辞典 I・II		20冊
2) 北海道ろうあ連盟発行書籍		208冊
① 2020年手話カレンダー 大		83枚
② 2020年手話カレンダー 小		117枚
③ 北海道の手話		8冊
3) その他団体等発行書籍		16冊
① 手話・言語・コミュニケーションNo.7、8	全国手話研修センター	16冊
II 札幌聴覚障害者協会制作販売		695冊
さっぽろの手話 (三訂)		665冊
さっぽろの手話 (医療編)		17冊
さっぽろの手話 (販売・接客編)		13冊

今年はメインの行事がすべて中止になり売り上げも半減した。その中で講師育成講座や中級・養成講座の開講式に細々と出店販売をした。他にHPを見ての注文依頼が少しずつ増えてきている。売り上げが伸びない中、仕入れは、コロナ対策期間ということで、1回の注文が50冊から20冊になったことは仕入過多にならずに助かった部分もある。

2. 2020年度出版物対策研究会議・第31回全国専従職員研修会

コロナ禍のため中止。

【収2】飲料自販手数料事業

1. 飲料自動販売手数料事業

公共施設等に飲料自動販売機を設置し、施設利用者の利便性を図るとともに、その手数料を得る事業を行なった。管理及び補充作業は清涼飲料水販売業者に委託した。

自動販売機設置個所は31ヶ所。 (2020年度)

【公益社団法人札幌聴覚障害者協会 2020年度事業報告書】

	設置先	区	飲料会社		設置先	区	飲料会社
1	市身体障害者福祉センター	西	キリン・大沼・P S・コカコーラ	17	栄地区センター	東	キリン
2	北区体育館	北	P S	18	厚別南地区センター	厚別	大沼
3	東区体育館	東	大沼	19	手稲曙温水プール	手稲	キリン
4	豊平区体育館	豊平	大沼	20	もいわ地区センター	南	ジャパン
5	南区体育館	南	大沼	21	白石東地区センター	白石	大沼
6	西区体育館	西	キリン	22	星置地区センター	手稲	ジャパン
7	清田区民センター	清田	キリン	23	白石区複合庁舎	白石	キリン
8	手稲コミュニティセンター	手稲	キリン	24	清田区体育館・プール	清田	ジャパン
9	市社会福祉総合センター	中央	キリン (3カ所)	25	清田区役所	清田	キリン
10	手稲区役所	手稲	キリン	26	札幌市下水道河川局	豊平	ジャパン
11	厚別区役所	厚別	大沼	27	中島体育センター	豊平	キリン
12	平岸プール	豊平	キリン (2カ所)	28	すみかわ地区センター	南	P S
13	中央図書館	中央	キリン	29	手稲区民センター	手稲	キリン
14	西野地区センター	西	キリン	30	スポーツ交流施設 (つどーむ)	東	ジャパン
15	中央健康づくりセンター	中央	大沼	31	札幌市視聴覚障がい 者情報センター	中央	キリン・ 大沼
16	はっさむ地区 センター	西	キリン				

※キリン=キリンビバレッジ、大沼=サントリー、コーラ=コカコーラ、

P S = P S ビバレッジ、ジャパン=ジャパンビバレッジ

2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けて設置していただいている施設が休館になったものが多数のため、売り上げが昨年よりも半分以上の減収となりました。

【収3】さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業

I デイサービスほほえみ白石

①地域密着型通所介護 及び 第1号通所事業

(介護保険指定事業 及び 札幌市介護予防・日常生活総合支援事業)

※指定開始日 2020年6月1日・2020年5月1日

②共生型生活介護(障害者総合支援法)

※指定開始日 2020年4月1日

期間: 2020年4月～2021年3月 (年間)

場所: 白石区菊水元町5条1丁目9-8

1. 事業内容

利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、手話でのコミュニケーション

を保障しながら利用者の立場に立ったサービスを実施する。利用者の心身機能の維持向上や社会的孤立感の解消並びに家族の身体的、精神的介護負の軽減を図り、利用者の住み慣れた地域での在宅生活を支援した。

(1) 地域密着型通所介及び第1号通所介護

要介護・要支援状態にある人が、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、デイサービスに通い、健康チェックや機能訓練、入浴、レクリエーション等の支援を行った。

(2) 共生型生活介護

障害がある人が自立した日常生活または社会生活を送ることができるよう、デイサービスに通い、食事や入浴、レクリエーションの他、身体機能や生活能力の維持向上のための訓練、創作活動等の支援を行った。

【2020年度通所回数内訳】

	介護保険		障害福祉 生活介護	合計
	通所介護	総合事業		
4月	0	9	0	9
5月	7	12	4	23
6月	28	31	4	63
7月	25	41	13	79
8月	31	31	11	73
9月	37	41	16	94
10月	51	38	17	106
11月	57	31	13	101
12月	47	33	16	96
1月	30	35	15	80
2月	39	28	17	84
3月	48	46	20	114
計	400	376	146	922

2. 利用者の状況

【居住区分】

	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
介護保険	2	2	2	2	0	4	1	0	0	1	14
障害福祉	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
小計 人	3	2	3	3	0	4	1	0	0	1	17

【要介護度・障害区分別】

要介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
	7	1	5	1	0	0	0	
障害区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	計
	0	1	0	1	0	1	0	

【性別・年齢別】

年代	60代	70代	80代	90代	平均	65歳～	男	女
人数	2	8	6	1	77.9歳	94歳	4	13

3. デイサービスほほえみ白石運営推進会議

期間：2020年4月～2021年3月（年間2回開催）

会場：デイサービスほほえみ白石

構成：利用者・町内会・地域包括支援センター・ほほえみ白石職員

月日	実施事業名等	内容概要
10月13日	第1回運営推進会議	施設内案内、事業・行事報告、意見交換
3月 2日	第2回運営推進会議	事業・行事報告、年間行事計画、意見交換

4. 研修受講

職員の資質向上のため、各種研修に参加及び自主開催し、研鑽に努めた。

	月 日	内 容	受講者数
外部研修	6月22日	聴覚障害者の情報・コミュニケーション保障	1
	10月 7日	新型コロナウイルス感染研修会	1
	2月9～10日	新任介護職員研修	1
内部研修	5月7日	盲ろう利用者の送迎ガイド演習	5
	6月8日	新型コロナウイルス感染への対応	5
	8月 5日、19日	施設見学「地域活動支援センターほほえみ西」	7
	9月 25日	虐待と身体拘束	5
	10月 23日	施設実習（ほほえみの郷、小多機ほほえみ手稻）	1
	11月 28日	札聴協職員研修「札聴協の事業運営について」	5
	12月 22日	送迎時の感染対策	5
	1月 19日	障害者虐待防止法について	6
	3月 16日	認知症 家族で知っておきたい初期サイン	6

5. 行事等企画

利用者の余暇活動の支援を目的として、様々な企画を実施した。

※他=家族、ボランティア、講師、住民、通訳者など

月 日	内 容	場 所	参加	内 訳		
				利 用	職 員	他
5月 20日	買い物外出レク	イオン苗穂店	6	3	3	0
6月17日	買い物外出レク	イオン苗穂店	8	4	4	0
6月24日	ふまねっと運動	デイルーム内	8	4	4	0
7月15日	買い物外出レク	イオン苗穂店	9	5	4	0
7月22日	ふまねっと運動	デイルーム内	10	6	4	0
7月30日	食事会	ほほえみカフェ	5	3	2	0
7月31日	防災訓練	デイルーム内	7	3	4	0

【公益社団法人札幌聴覚障害者協会 2020年度事業報告書】

8月11日	納涼祭	デイルーム内	9	4	5	0
8月12日	納涼祭	デイルーム内	14	5	7	2
8月19日	買い物外出レク	イオン苗穂店	9	5	4	0
8月20日	食事会	ほほえみカフェ	7	4	3	0
8月26日	ふまねっと運動	デイルーム内	12	5	4	3
9月16日	買い物外出レク	イオン苗穂店	9	5	4	0
9月23~24日	敬老会	豊平公園、ほほえみカフェ	16	9	6	0
9月25日	ふまねっと運動	デイルーム内	10	5	5	0
10月14~15日	買い物外出レク	イオン苗穂店	14	8	5	1
10月22日	食事会	ほほえみカフェ	6	3	2	1
10月23日	外出レク	白石合同庁舎	6	3	3	0
11月18~19日	買い物外出レク	ラッキー菊水元町店、イオン苗穂店	6	3	3	0
11月26日	食事会	ほほえみカフェ	10	6	4	0
12月16~17日	買い物外出レク	イオン苗穂店、ホーマック	8	5	3	0
12月21~25日	冬至・クリスマス会	デイルーム	30	25	5	0
12月28日	忘年会	デイルーム	9	4	5	0
1月4~7日	新年会	デイルーム	23	18	5	0
1月20~22日	買い物外出レク	ラッキー菊水元町店、イオン苗穂店	12	8	4	0
1月26~27日	防災学習会	デイルーム内	15	10	5	0
2月2~3日	節分	デイルーム内	18	13	5	0
2月16日	ふまねっと運動	デイルーム内	11	6	5	0
2月17~19日	買い物外出レク	ラッキー菊水元町店、イオン苗穂店	12	9	3	0
3月1~3日	ひなまつり	デイルーム内	19	14	5	0
3月17~19日	買い物外出レク	イオン苗穂店、コープ菊水元町店	17	12	5	0
3月25~31日	ご苦労様会	デイルーム内	28	23	5	0

6. 職員等体制 (2021年3月31日現在) 計5名

常 勤 3名	管理者兼生活相談員 1名 生活相談員兼介護職員 1名 介護職員 1名
非常勤 2名	看護職員 1名 介護職員 1名

7. 今年度の成果・反省

- (1) 平成29年4月から3年間休止していたデイサービス事業を、令和2年4月に再び開所した。休止時の利用者数人が再契約し、また通えると喜んでもらえた。
- (2) 再開にあたり、18歳以上の障害者もデイサービスに通えるよう障害福祉サービス事業の生活介護を導入した。登録者全体の20%がこの制度を使って通われており、他者との交流や日中活動を楽しめている。
- (3) コロナ禍のデイサービス利用自粛、身体機能や筋力低下によるケガや入院、施設入所などで利用者がなかなか増えず、低迷状態が続いた。収支面

は大変厳しい状況にあり、ひきつづき他機関との関係作りや情報収集に取り組む。

- (4) マスク着用や手指消毒、密集を避けた行動など、デイサービスの活動内容にも多くの制約があるが、今後も感染者が出ないための感染対策を徹底し、利用者が可能な限り安全で自分らしく暮らし続けられる支援を継続する。

II ヘルパーステーションほほえみ白石

- ① 居宅介護事業（障害者総合支援法）
※指定開始日 2014年7月1日
- ② 訪問介護事業 及び 第1号訪問事業
(介護保険指定事業 及び 札幌市介護予防・日常生活支援総合事業)
※指定開始日 2014年9月1日 (第1号訪問事業は2018年4月1日)
- ③ 移動支援（札幌市地域生活支援事業）
※指定開始日 2014年10月1日
- ④ 同行援護事業（障害者総合支援法）
※指定開始日 2015年4月1日
- ⑤ 重度訪問介護事業（障害者総合支援法）
※指定開始日 2015年4月1日

期間：2020年4月～6月（①～⑤は2020年6月30日をもって事業停止）

場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

1. 事業内容

利用者の意思および人格を尊重し、支援計画に基づいたサービスを実施した。手話のできるヘルパーを派遣し、利用者に合ったコミュニケーションを保障しながら、以下の支援を行った。

(1) 居宅介護事業

障害のある人の自宅に訪問し、身体介護や家事援助、各種相談・助言、また通院介助等を行い、住み慣れた地域で自立して日常生活を送ることができるように支援する一方、家族などの介護の負担の軽減を図った。

(2) 訪問介護事業及び第1号訪問事業

要介護・要支援状態にある人が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、利用者宅に訪問し身体介護や家事援助を行なった。

(3) 移動支援

1人では外出困難な障害者（児）が、社会生活上必要不可欠な外出、及び余暇活動や社会参加のための外出の際に、移動の支援や身の周りの介護等を行なった。

(4) 同行援護事業

視覚障害者の外出（通院や社会参加、余暇活動など）に同行し、情報提供（代筆・代読を含む）や身体介護、その他外出に必要な支援を行なった。

(5) 重度訪問介護事業

重い障害がある人の自宅へ訪問し、居宅における身体介護や家事援助等生活全般にわたる援助を行なった。

2. 訪問の回数と利用者の状況

【2020年度訪問回数内訳】

	障害福祉サービス						介護保険		合計	
	居宅介護			同行 援護	重度 訪問 介護	移動 支援	受託 居宅 介護	訪問 介護		
	身体 介護	家事 援助	通院 介助							
4月	28	15	6	21	8	24	84	28	19	233
5月	29	15	4	22	4	21	85	31	20	231
6月	27	16	3	22	8	26	82	30	15	229
計	323	147	52	258	92	230	821	369	204	2,496

【居住区別】 (2020年6月30日現在)

	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
障害福祉	9	1	1	1	1	0	1	0	2	0	16
介護保険	3	1	2	0	0	1	0	0	1	0	8
小計 人	12	2	3	1	1	1	1	0	3	0	24

【要介護度・障害区分別】

要介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
	1	4	1	2	0	0	0	
障害区分	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	その他	計
	2	4	5	3	0	2	0	

3. 職員等体制 (2020年6月30日現在) 計7名

常 勤 4名	管理者 兼 事務局長 1名 サービス提供責任者 兼 訪問介護員 1名 訪問介護員 1名 訪問介護員 兼 ほほえみ手稻介護員 1名
非常勤・登録 3名	訪問介護員 3名

4. 今年度の成果・反省

- (1) 2020年6月末をもち事業閉鎖。閉鎖に伴う行政への諸々の申請手続きはサービス提供責任者が行い、大きな支障はなく終えることができた。
- (2) 利用者の引継ぎ作業が困難を極めた。事業所の数はあるものの利用者の納得のいく事業所ではなかったり、現行の訪問時間に合致するサービス提供ができない事業所であったりと、なかなか見つからない状況だった。
- (3) 聴覚障害に特化した事業所という希少性ゆえに、閉鎖を惜しまれる声が多数あった。職員数不足というやむにやまれぬ事情で閉鎖になってしまったが、事業の必要性は見てとれた。デイサービス事業や小多機事業、サ高住事業で、聞こえない人の生活を支えていきたい。

III サービス付き高齢者向け住宅事業

高齢の聴覚障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、聴覚障害者向けの設備を完備し、コミュニケーションの配慮が行き届く住宅を開設し、管理・運営を行った。

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷

登録番号：札一16第12号（2016年8月19日登録）

期　　日：2020年4月～2021年3月

場　　所：札幌市手稲区稻穂2条7丁目5-7

介護事業：小規模多機能型居宅介護事業所併設

提供サービス：安否確認、生活相談、食事提供

1. 入居状況（2021年3月31日現在）定員：20戸／24名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
当月入居数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
当月退去数(人)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
入居戸数計(戸)	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
入居者数計(人)	21	21	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

2. 入居者状況（2021年3月31日現在）

【性別・年齢別】

年代	60代	70代	80代	90代	平均	70歳～ 92歳	男	女
	人数	0	4	11	5		9	11

【要介護度別】 * 平均要介護度：要支援2.7

要介護度 (人)	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
	3	4	2	1	9	0	0	1	20

【夫婦等世帯数】

夫婦世帯	4 世帯	単身世帯	12世帯
------	------	------	------

3. 職員等体制（2021年3月31日現在）計20名

常勤兼務 5名	所長 兼 生活相談員 1名 生活支援員 4名 ※いずれも、ほほえみ手稲介護職員と兼務
非常勤兼務 4名	生活支援員 4名 ※いずれも、ほほえみ手稲介護職員と兼務
アルバイト 8名	宿直業務 1名（食事準備・片付と兼務） 食事準備・片付 8名

4. 点検、修理、工事、防災対策等について

（1）8月（総合）と2021年2月（地震）に消防訓練を行った。

地震を想定した訓練は初めてを行い、日頃の注意点等の学習を行った。各居室での事故防止に、引き続き努めていきたい。

(2) 消防訓練の実施に合わせ、消防設備点検を行った。

消防署の方針変更により、実際に通報する訓練が取りやめとなつたが、点検に合わせて各居室に設置しているモニター及びベッドシェーカーの動作確認を引き続きしていく。

(3) 消防設備、エレベータ、その他建物の設備は、点検結果を定期的に行政に報告する義務があり、点検費用が発生する。他にも冷暖房設備や厨房設備など、定期的に点検が必要な設備が多数ある。2020年度は様々な点検等が重なり、支出が増えた。

(4) 非常食の備蓄について、保管場所が課題となっていたが、新型コロナウイルス感染症対応支援金により物置を増設する予定であり、備蓄も適宜進めていく予定。

5. 今年度の成果・反省

(1) コロナ禍で入居者に外出制限を求めるなど、厳しい一年となった。状況が収束するまで、気を緩めず、基本的な対策を続けていく。

(2) 入居者の加齢による体力的な落ち込みや疾病の重度化が顕著に見られるようになってきた。個別に訪問診療を受けている入居者もいるが、施設として、医療機関をはじめとする関係医療機関との連携、協力関係を築いていきたい。

(3) 入居者本人が求める医療行為や過ごし方について、ご本人の意思が確認できるときに確認を進め、ご本人が望む形で過ごせるよう支援したい。

(4) 近隣地域との関わりについて、コロナ禍もあり連携強化にはあまり取り組めなかつた。継続課題として、地域とのネットワークづくりに努めたい。

IV 小規模多機能型居宅介護事業

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷に併設し、介護の支援が必要な入居者及び近隣地域の住民に対し、サービスを提供した。

小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲（事業所番号 0190400697）

指定開始日：2017年4月1日（指定通知書発行日：2017年3月27日）

事業：地域密着型小規模多機能型居宅介護及び

介護予防小規模多機能型居宅介護

場所：手稲区稻穂2条7丁目5-7

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷 1階

面積：100.40m²

定員：登録24名、通い12名、泊り4名

1. 登録状況について

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
登録者数(人)	17	17	16	16	16	16	15	15	15	15	16	16
登録率 (%)	71	71	67	67	67	67	63	63	63	63	67	67

【公益社団法人札幌聴覚障害者協会 2020年度事業報告書】

新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
再開	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終了	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0

【登録状況の推移】

【登録終了者の状況等】 (2021年3月31日現在)

区分	施設入所	入院	その他	計
人数(人)	0	0	2	2

2. 登録者の状況 (2021年3月31日現在)

【住居区分】

住居区	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
(人)	0	0	0	0	15	0	0	0	0	1	16

【要介護度別】 *平均要介護度：要介護1.48

要介護度 (人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
	2	3	1	9	0	0	1	

【性別・年齢別】

年代	60代	70代	80代	90代	平均	70歳～ 92歳	男	女
	人数	0	2	9	5		5	11

3. サービス提供状況について

【サービス利用延べ回数及び一人当たりの月平均利用回数】

	通い	訪問	宿泊	延回数	月平均回数
4月	394	1,044	2	1,440	48.0
5月	360	1,146	0	1,506	48.6
6月	426	1,113	6	1,545	51.5
7月	528	1,123	6	1,657	53.5
8月	426	1,113	6	1,545	49.8
9月	491	1,317	8	1,816	60.5
10月	485	1,170	6	1,661	53.6
11月	438	1,138	8	1,584	52.8
12月	440	1,268	3	1,711	55.2
1月	394	1,272	4	1,670	53.9
2月	402	1,209	5	1,616	57.7
3月	494	1,446	10	1,950	62.9
計	5,278	14,359	64	19,701	648.0

※月平均回数＝サービス提供延べ回数 ÷ (当月日数×登録者数) × 7

※月一人当たり平均利用回数は、週4日以上の定め

4. (介護予防) 小規模多機能型居宅介護 (短期利用型)

利用者の状態や家族等の事情により緊急に利用することが必要であると認め、登録定員の範囲内であり、サービス提供に支障がない場合、空いている宿泊室等を利用し、短期間のサービスを提供するものである。

累計で2件の利用があった。1件は夜間に緊急性のある利用で1泊のみ。もう1件はご家族の介護負担の軽減を目的とした利用。

5. 自家用有償旅客運送 (福祉有償運送)

小規模多機能型居宅介護の登録者を会員とし、設定した料金において、車で数分の距離にある医療機関等へ個別輸送を行なった。

期間：2020年4月～2021年3月

対象：小規模多機能型居宅介護の登録者

体調、ケガ、筋力低下等による歩行困難などで、外出時に介助を要する人

料金：

	距離	料金	備考
1km未満		100円	近隣の医療機関・店舗
1km～2km未満		300円	
2kmから500m毎		プラス50円	

【稼働状況】

	回数	距離 (km)	目的		
			受診	買い物	その他
4月	0	0	0	0	0
5月	2	59.0	2	0	0
6月	4	15.6	2	2	0
7月	3	1.8	3	0	0
8月	6	80.8	3	3	0
9月	6	20.7	2	2	2
10月	8	44.0	6	2	0
11月	5	74.6	5	0	0
12月	1	7.0	1	0	0
1月	8	20.2	8	0	0
2月	6	80.6	3	0	3
3月	3	2.6	3	0	0
計	52	406.9	38	9	5

6. 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稻運営推進会議

期間：2020年4月～2021年3月（年間6回開催）

会場：ほほえみの郷1階 居間・食堂

構成：利用者・町内会・地域包括支援センター・手稲区支部・

手稲区手話サークル・ほほえみの郷職員・ほほえみ手稲職員

月日	実施事業名等	内容概要
5月20日	第1回運営推進会議	新型コロナウイルスの為、中止
7月22日	第2回運営推進会議	新型コロナウイルスの為、中止
9月23日	第3回運営推進会議	新型コロナウイルスの為、中止
11月23日	第4回運営推進会議	事業報告・自己紹介・新型コロナウイルスへの対策説明・意見交換
1月20日	第5回運営推進会議	事業報告・事業所自己評価の開示・意見交換
3月17日	第6回運営推進会議	事業報告・外部評価の実施依頼・意見交換

※年6回開催、奇数月に開催

7. 研修受講

新型コロナウイルスの影響により、外部研修が総じて中止になってしまったため、内部での研修を行い職員の介護技術の研鑽を図った。

内 部 研 修	月 日	内 容	受講者数
	9月 10日	虐待と身体拘束	6
	10月 28日	ボディメカニクスの原理と活用方法	5
	11月 28日	札聴協職員研修「札聴協の事業運営について」	9
	1月 22日	高齢者介護施設のための 新型コロナウイルス感染対策	7
	2月 18日	食事介助について	7

8. 行事等企画（ほほえみの郷・ほほえみ手稲）

入居者、利用者の余暇活動の支援を目的として、様々な企画を実施した。
新型コロナウイルス感染予防に留意して行った。

※他=家族、ボランティア、講師、住民、通訳者など

月 日	内 容	場 所	参 加	内 訳			
				手 稲	郷	職 員	他
6月 23日	料理レク	ほほえみ手稲	10	6	-	3	1
7月 15日	買い物レク	ラッキー星置店	4	2	-	2	0
7月 21日	茶話会	ほほえみの郷	27	16	3	8	0
7月 28日	入居者会議	ほほえみの郷	25	-	18	7	0
8月 22日	外出レク	小樽市錢函	4	3	-	1	0
8月 22日	外出レク	石狩新港	12	10	-	2	0
8月 28日	納涼祭(B B Q)	ほほえみの郷	32	15	4	10	3
9月 14日	敬老会	ほほえみの郷	25	14	4	7	0
10月 6日	外出レク	朝里ダム	10	7	-	3	0
10月 8日	外出レク	朝里ダム	6	3	-	3	0
11月 10日	おやつレク	ほほえみ手稲	11	7	-	4	0
12月 22日	クリスマス会	ほほえみの郷	32	14	5	10	3

【公益社団法人札幌聴覚障害者協会 2020年度事業報告書】

12月30日	餅つき&茶話会	ほほえみの郷	27	13	5	6	3
1月1日	新年会	ほほえみの郷	24	12	5	6	1
1月15日	おやつレク	ほほえみ手稻	10	7	-	3	0
2月4日	恵方巻きづくり	ほほえみの郷	29	14	3	8	4
2月26日	ふまねっと	ほほえみ手稻	13	9	1	3	0
3月22日	ふまねっと	ほほえみ手稻	13	10	1	2	0

9. 職員体制 (2021年3月31日現在) 計 12名

常勤 8名	管理者 兼 介護職員 1名 看護職員 1名 計画作成担当者 1名 介護職員 5名 (いずれもほほえみの郷生活支援員と兼務)
非常勤 4名	介護職員 4名 (いずれもほほえみの郷生活支援員と兼務)

10. 今年度の成果・反省

- (1) 入院、逝去があり登録者が減る一方で新規登録の伸び悩み、収入増もならなかつた。来年度はほほえみの郷の入居者募集とともに登録を働きかけ、登録率を上げていきたい。
- (2) 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、例年通りの研修参加や行事実施ができず、職員のスキルアップ計画の頓挫や利用者の地域参加が全くできない状態であった。また同様に、感染状況を鑑みて運営推進会議も開催することができず、事業所としての地域参加も一時辞めざるを得なくなってしまった。
- (3) 新型コロナウイルスの騒動から施設内の環境保全や消毒に力を入れることで今年度、インフルエンザや感染性の病気になり患された方はいなかつた。
- (4) iPadを3台、閉鎖したヘルパー事業所から譲り受けたことで、記録のICT化を図り、紙やインク代などの必要経費の削減に着手することができた。
- (5) 新職員の入職が今年度1人(異動入職を含めると2人)と少ない。登録者を増やしていく過程では介護力を求められるので、早急に職員の増員が必要。

V 介護支援センター共通

1. 職員の資格保有状況 (2021年3月31日現在)

	介護支援専門員	介護福祉士	ヘルパー2級等	正 看 護 師	無資格
常勤	2	6	4	1	0
非常勤	0	2	3	1	0
計	2	8	7	2	0

その他 主な 保有資格	社会福祉士、手話通訳士、全身性障害者移動介護・行動援護・同行 援護従業者、認知症対応型サービス事業管理者、小規模多機能型サ ービス等計画作成担当者、他
-------------------	---

2. 広報

- ①毎月発行するH S K札聴紙へ活動状況を掲載、発信した。（計11回）
- ②各事業所合同の機関紙「さっぽろ聴覚障害者介護支援センター通信」を発行し、関係者に配布し情報発信を行なった。（計4回）
- ③ほほえみの郷・ほほえみ手稲のFacebook（フェイスブック）ページを開設し、日頃の情報配信に努めている。

3. その他

- ①職員の健康診断と特定診断を予定通り行なった。（年1回）
- ②新型コロナウイルス感染症について、各事業所において可能な範囲の対策を続けた。
- ③新型コロナウイルス感染症対応慰労金及び支援金について、閉鎖したヘルパーステーションも含めて4事業所の申請を行い、慰労金は該当する職員へ配付した。支援金については各事業所で検討し、必要な改修や備品の購入等を行った。

VI さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業運営委員会

構成：団体等個人に運営委員を委嘱

期間：2020年4月～2021年3月（年間3回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	出席	回	月日	出席
1	2020年5月22日(金)	11名	2	2020年9月4日(金)	中止
3	2021年1月22日(金)	8名	※第3回はオンライン併用		

時間：19：00～20：45

委員名簿：

札幌手話サークル連絡協議会：鍛治由佳子氏、中村博子氏

札幌手話通訳問題研究会：中村雅子氏、宮本ゆかり氏

聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：田村玲子氏、
三澤美紀子氏

(公社) 札幌聴覚障害者協会：宮内博子副理事長、森恵子理事

担当職員：樋口あやこセンター長兼サ高住ほほえみの郷所長

有山将大小多機ほほえみ手稲所長（センター長代行）

本間慎一小多機ほほえみ手稲計画作成担当者

中村千恵デイサービスほほえみ白石所長

塚本純子ヘルパーステーションほほえみ白石サービス提供責任者

内容：センター事業（ヘルパーステーション、デイサービス、サ高住、
小規模多機能型居宅介護）の現況報告および意見交換を行った。

【他1】相互扶助事業

I 支部・青年部・女性部・高齢部等における各種行事の実施

1. 支部事業

(1) 専門部会議での会計部、組織部、情報・コミュニケーション部会議

開催：月1回のうち実施した会議6回（7月、8月、9月、10月、2月、3月）。新型コロナウィルス感染拡大を防ぐため、4月、6月、12月は中止とした。（5月、11月は休み）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

① 札幌聴覚障害者協会会員数

	2020年4月1日	2021年3月31日	増減	備 考
正会員	410	395名	-15	入会6名・退会21名 ※退会理由：市外転出、自己都合ほか
賛助	72名	67名	-5	

② 区別会員数

(単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外	計
正	18	85	76	41	30	29	12	16	45	43	/	395
賛助	8	6	9	5	4	2	1	4	14	8	6	67

③年代・性別別会員数(正会員)

(単位：名)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
男性	0	8	20	21	30	60	58	20	2	219
女性	0	8	16	15	38	42	38	16	3	176

④HSK札聴障購読者数(有料購読者)

	2019年3月31日	2020年3月31日	2021年3月31日	増減
市内	93名	81名	92名	+11
市外	36名	36名	40名	+4
道外	1名	1名	1名	0
合計	130名	118名	133名	+15

⑤日本聴力障害新聞購読者数(札幌市内)

2019年3月31日	2020年3月31日	2021年3月31日	増減	※札聴協事務局での新規購読申込受付数:16名
230名	234名	218名	-16	

⑥季刊MIMI購読者数

2019年度	2020年度	増減
35名	32名	-3

【組織部】**専門部会議について**

新型コロナウイルスの影響で3回中止せざるを得なかった。連休、祝日でお休みの時もあったため、実質半年分しか開催できなかった。さらに各区支部から1名のみ人数制限という厳しい条件の中、札聴協からの情報提供、全国手話研修センター後援会員拡大等の意見交換をした。会員宅の訪問で特別定額給付金の申請漏れに気づいた好事例もあり、組織力が不可欠だと確認することができた。

**(2) 区支部（中央・北・東・白石・厚別・豊平・清田・南・西・手稲）
が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業**

各区支部事業報告

区支部	行事事業名								
中央	5月 交流会 中止		12月 忘年会 中止						
北	9月 焼肉交流会(中止)		10月手話サークルと 研修交流会(実施)	1月 新年会(中止)					
東	6月パークゴルフ& 野外交流会 中止	7月元町 夏祭り 中止	9月フロアカーリング 交流会中止	11月 東区 手話まつり 中止	12月 合同 クリスマス会 中止				
白石	9月 秋の交流会		12月 手話サークル&合同忘年会						
厚別	コロナ禍のため、行事は行っていません								
豊平	7月 防災体験&交流会	9月 野外交流会		12月 ボウル&忘年会					
清田	12月12日 忘年会 中止								
南	全ての予定を中止								
西	9月 野外交流会 中止		12月 クリスマス会 中止						
手稲	4月26日 支部 創立30周年事業 中止	6月 野外 交流会 中止	9月20・21日 手稲神社祭 中止	9月バス ツアー 中止	ボウリング 交流会 中止				
					12月 忘年会 中止				

2. 青年部、女性部、高齢部等の各部が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

(1) 青年部事業**①青年部事業報告**

日程	行事名	参加人数
2020年8月2日	ダベリ場 「青年部で釣りよかでしょう」	21名
3月20日	定期総会	13名

②青年部会議：年7回開催 会場：市視聴覚障がい者情報センター

コロナ禍のため月1回の会議は5回分中止にしました。かわりにLINEを使って報告、連絡しました。

ダベリ場は年3回の予定でしたが、コロナウイルス感染者が減少して落ち着いた8月のみ実施しました。

青年部総会は「会場へ直接出席」だけでなく「オンライン出席」もできるようになりました。当日のオンライン出席者は2名。

(2) 女性部事業

①女性部事業報告

日程	行事名	参加人数
2020年8月21日	第33回がん検診（がん検診センター）	中止
10月4日	文化祭典グルメバザー	中止
11月1日	報告会	中止
2021年3月21日	第10回定期総会	24名

②女性部会議：2回開催（コロナ禍の影響で数回の開催はできませんでした。）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

③社会生活教室：2回「3B体操」 実施：参加数16名

「110番アプリについて」コロナ禍のため中止

2020年度は、新型コロナ感染症拡大により大きな混乱に巻き込まれ、顔を合わせての活動に制限がかかる一年でありました。予防対策を講じているにも関わらず、日々コロナが収束しないことに皆さんも心を痛めていることと思います。

このコロナ禍で一年間予定していた事業は、中止せざるをえませんでした。会員とも会うことがないまま一年を無性に過ごす結果となりました。次年度の活動にも不安が残りますが、状況を把握しながら、この困難を乗り越えて行くことができるよう感染予防を徹底し、安心して少しでも事業を再開できるようにしたいと思います。

2020年度の全国ろうあ女性集会は、京都市で女性部設立50周年を記念した集会を開催予定でしたが、コロナの影響で中止となりました。2021年度は、秋田県で開催される予定です。日程が協会の文化祭典とぶつかりますが、女性部によるグルメはお休みする方向で検討中です。理由は、札幌から秋田集会に代表をたくさん派遣することが目標です。状況次第になりますが、それまでに検討します。

2020年度は、女性部の活動のあり方、後継者育成などに取り組む機会を拒まわれてしまいましたが、「何のために女性部は必要なのか」を皆さんと一緒に考え、課題を解決するため2021年度に取り組んでいけるようにしたいと思います。また、当たり前の日常を取り戻せるように、コロナ感染予防にしっかりと留意しながら、新しい活動の仕方を皆さんと一緒に考えて行ける年にしたいと思います。

(3) 高齢部事業

①高齢部事業報告

日程	事業名	場所	参加人数
9月12日	パークゴルフ交流会	丘珠空港 P G 場	9名
	社会見学会	白老町・ウポポイ	(中止)
	三部交流会	身障福祉センター	(中止)
(7回)	役員会	市視聴覚障がい者情報センター	

6月24日、高齢部役員とクラブ役員による合同会議が開かれ、これからの方針を決めました。①札幌ろうあ老人クラブを高齢部の組織のなかに編入します。理事会・総会への報告は高齢部が担当します。②札幌市関係のものは一定の配慮をします。③クラブ担当役員を配置します。④例会等は、情報センターを使用します。ロッカーの保管場所は身障センターから情報センターに移管します。

3. 会員慶弔福利制度事業

①会員に慶弔がある時は、会員からの申請に基づき随時手続き処理をした。

＜2020年度手続き件数＞ (単位：件)

①結婚祝金	1	⑤銀婚祝金	0
②入学祝金	0	⑥入院見舞金	3
③長寿祝金	2	⑦災害見舞金	0
④銅婚祝金	0	⑧死亡弔慰金	3
合計			9

②会員ポイント制度

ポイントカードを正会員一人ひとりに配付し、ポイントの受付を行う。2020年度はコロナ禍により行事などがほぼ中止になったため、有効期間を1年分延ばした。

4. 新年交礼会事業

新年も引き続き協力しながら聴覚障害者の福祉向上の実現に向け、心新たに活動を続けようと親睦と交流をかねて、「2021年新年交礼会」を2021年1月9日（土）開催予定だったが、コロナ禍により中止。

II 聴覚障害者が参加する各種クラブ活動への助成等

1. 活動助成事業（文化系・スポーツ系・福祉系他）

以下のクラブに対し、活動助成金を支給した。

クラブ名	内容	代表者	会員数
<文化系> 3クラブ			
デフフォトクラブ	写真	畠山 均	15名
札幌ろうあ劇団舞夢	手話劇	高橋 淨	7名
札幌デフ麻雀倶楽部	麻雀	今野 整	38名

<スポーツ系> 6 クラブ			
S.R.B.C(札幌ろうあボウリングクラブ)	ボウリング	池 正直	16名
サッポロデフバドミントンクラブ	バドミントン	佐藤 裕介	15名
札ろうパークゴルフクラブ	パークゴルフ	菊地 恒雄	19名
ソフトバレーボールクラブ	ソフトバレーボール	森 良太	14名
札ろうフロアカーリングクラブ	フロアカーリング	水除 弘子	19名
札幌デフカーリングクラブ	カーリング	一色 秀和	11名
<性別・年齢別系> 1 クラブ			
札幌ろうあ老人クラブ	老人親睦	守屋 弘之	68名
<福祉系> 1 クラブ			
とも	高齢ろうあ者・重複障害者支援	伊勢谷小枝子	45名

※男子バレーボールクラブ、札幌デフフットボールクラブは休部のため対象外

※北海道デフファイターズ（ソフトボールクラブ）は加入1年目のため対象外

2. 札幌市視聴覚障がい者文化・スポーツクラブ等助成金交付事業（札幌市）

視聴覚障がい者の社会参加を推進し、その福祉向上を図るため、札幌市内において当該障がい者が自主的に運営する非営利の文化、スポーツクラブ、サークル団体の活動に要する経費の一部を助成するものであり、クラブ代表者会議第8回定例総会において交付対象のクラブを決定した。

(年間3クラブ)

2020年度助成金交付クラブ：札幌ろうボウリングクラブ
札幌デフ・カーリングクラブ
フロアカーリングクラブ

3. スポーツ大会開催事業・選手派遣等

(1) 全道ろうあ者夏季体育大会への競技団体参加費助成事業

「第53回全道ろうあ者夏季体育大会」
コロナ禍により中止のため、なし。

(2) 全国ろうあ者体育大会への選手派遣事業

「第54回全国ろうあ者体育大会」
コロナ禍により中止のため、なし。

4. 全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技北海道・東北地区予選大会への選手派遣補助金事業

コロナ禍により中止のため、なし。

5. クラブ代表者会議及び運営会議

期間：2020年4月～2021年3月（年6回会議開催）

会場：市体障害者福祉センターなど

対象：文化・スポーツクラブの代表者及び担当

(1) クラブ代表者会議

回	日程・時間	主な内容	クラブ出席
1	2020年4月24日（金） 18:30～20:30	総会	書面による 全クラブ承認
2	2020年7月17日（金） 19:00～20:30	クラブ助成金申請書提出、 クラブの報告など	11クラブ
3	2021年1月29日（金） 19:00～20:30		コロナ禍の ため中止

(2) 運営会議

回	日程・時間	主な内容	出席人数
1	2020年6月5日（金）	2020年度の課題確認	4名
2	2020年12月4日（金） メールによる会議	各大会報告	6名
3	2021年3月19日（金） 19:00～20:30	総会の準備、会計について	3名

(3) クラブ代表者会議加入クラブ（2021年3月31日現在）

- ①文化系4クラブ（内1クラブ休部）
- ②スポーツ系9クラブ（内2クラブ休部）

【クラブ支援部】

1. 加入している3クラブは引き続き2020年度も活動休止。
2. コロナの禍の影響で全国、全道各大会の中止のため、2020年度分担金を徴収しなかった。
3. 一部クラブが「新北海道スタイル」に取り組むとともに再開しつつある。
4. 少子高齢化が進む中、会員数が減少している状況から人員不足の理由で休部になるクラブが目立ってきてている。

III 国際友好交流事業の実施

1. 中国瀋陽市聾人協会との友好交流行事の実施
コロナ禍のため、中止。
2. 韓国ろうあ者協会大田広域市協会との友好交流事業の実施
3年に一度の開催のため、実施せず。2021年度に韓国大田広域市において、開催予定。

【他2】各種大会への協力及び支援事業

2020年度の事業なし。

【法人関係事業】

法人関係事業

- I さっぽろ夏まつり福祉協賛ビアガーデン（協力）
キリンビール（株）様の協力のもと、夏まつり福祉協賛ビアガーデンのビール券を行政や企業、団体、各区支部、クラブ、会員等へ販売普及。
2020年度はコロナ禍のため、未実施。

II 総会・理事会・委員会・会議等の開催

1. 社員総会開催

「第10回定時社員総会」

コロナ禍のため、2020年5月24日（日）に社員総会の決議があったものとみなした提案書を送り、全ての代議員から同意書をいただいた

主な議題：2019年度事業報告及び決算報告、2020年度事業計画及び予算、規則・規程一部改正

代議員数：83名

同意数：83名

「臨時社員総会」

期日：2020年7月26日（日）13：30～15：30

会場：市社会福祉総合センター 大研修室

主な議題：新型コロナウイルス感染症の影響による収入減のため長期借入金の借入の件

代議員数：83名（開会時）出席：77名（内、委任16含み）

（採決時）出席：76名（内、委任16名含み）

2. 理事会開催

1) 定時理事会

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	時間	出席理事	出席監事
1	2020年4月19日	9：30～14：00	16名	2名
2		中止		
3	6月21日	9：30～12：30	16名	2名
4	8月30日	9：30～12：10	16名	1名
5	10月18日	9：30～12：10	16名	2名
6	12月20日	9：30～12：00	16名	2名
7	2021年3月6日	18：30～20：45	15名	1名
	3月7日	9：30～16：50	16名	2名

※ コロナ禍の集中対策期間のため、時間を短縮して実施。

2) 書面

回	提案日	理事(同意)	監事(確認)
1	2020年6月26日	16名	2名

※理事会出欠票は別表 P80に記載

3. 四役会議

期間：2020年4月～2021年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

※コロナ感染対策のためオンラインを4回実施

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2020年4月8日(水)	5名	5	10月7日(月)	5名
※2	5月13日(水)	5名	※6	12月2日(水)	5名
※3	6月3日(水)	5名	7	2021年2月10日(水)	5名
※4	8月5日(水)	5名			

時間：19：00～21：00

出席：渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事長、宮内博子副理事長、高嶋正博常務理事、京野大樹事務局長

内容：理事会で確認された事項の取り組みについて経過報告、次回理事会の議題、報告とする事項の確認、整理をおこなった。

4. 経営会議

期間：2020年4月～2021年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

※コロナ感染対策のためオンラインを4回実施

回	月日	人数	回	月日	人数
※1	2020年4月28日(火)	8名	7	10月27日(火)	9名
※2	5月26日(火)	8名	※8	11月24日(火)	7名
3	6月23日(火)	7名	※9	2021年1月27日(水)	8名
4	7月28日(火)	8名	10	2021年2月24日(水)	8名
5	8月25日(火)	8名	11	3月26日(金)	8名
6	9月29日(火)	8名			

時間：19：00～21：00

出席：渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事長、宮内博子副理事長、高嶋正博常務理事、京野大樹事務局長、秋井利江聴覚障害者支援センター長、渋谷悌子コミュニケーション支援課長、有山将大さっぽろ聴覚障害者介護支援センター長代行（～9月29日）、樋口あやこさっぽろ聴覚障害者介護支援センター長（10月27日～）

内容：派遣事業、福祉サービス事業の事項及び人事について事項の確認等を行った。

5. 職員会議・研修

日時：11月28日（土）

会場：各事業所（オンライン方法で実施）

講演①「札聴協事業の方針」 渋谷雄幸理事長
 講演②「札聴協の事業運営について」 京野大樹事務局長

6. 三団体懇談会

構成：札聴協・札サ連・札通研

期間：2020年4月～2021年3月（月1回・第3火曜日開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

※コロナ感染対策のためオンラインを2回実施

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2020年4月21日	中止	7	11月17日	中止
2	5月19日	中止	8	12月15日	中止
3	6月16日	7名	※9	2021年1月26日	8名
4	7月21日	6名	※10	2月16日	8名
5	9月15日	7名	11	3月16日	8名
6	10月20日	6名			

札聴協：金原浩之副理事長・高嶋正博常務理事・福島太郎理事・京野大樹
 理事・若浜ひろ子理事

札サ連：宮本英行会長・中村博子副会長・堀井淑副会長（～7月）・吉田美穂
 会計部長（～7月）・鍛治由佳子副会長（8月～）・三上基子事務局
 長（8月～）・三木千枝子会計部長（8月～）

札通研：太田利実副運営委員長・中村雅子事務局長・渋谷悌子事務局次長
 宮本ゆかり広報部次長・佐藤薰会計部次長

各団体の会員数、事業のお知らせ、活動状況報告、札幌市手話言語条例、研
 修センター後援会協力や取組みのお願いなど情報交換や日聴紙、札聴紙の購読
 者および手話研修センター後援会員の拡大の意見交換を深めている。

7. 一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会

① 2020（令和2）年度定時総会（書面決議・書面報告）
 同意書 提出（2020年5月3日）

② 2020（令和2）年度理事会（3回）

日時：①第1回 議決権行使書 提出（2020年4月12日）

②第2回 議決権行使書 提出（2021年3月16日）

出席者：理事長 渋谷雄幸（（一社）札幌市障がい者スポーツ協会理事）

8. 札幌市障がい者によるまちづくりサポート制度会議

日時：①2020年 6月23日（火）書面会議

②2020年10月23日（金）10：00～11：30

場所：札幌市役所

委員：構成人数 12名

（公社）札幌聴覚障害者協会 佐藤正昭理事

札幌市身体障害者福祉協会 1名

NPO法人手と手 1名

北海道でヘルプマークを広げよう
真っ赤なマークを知ってつ会 1名
NPO法人北海道学習障害児・者親の会クローバー 1名
札幌みんなの会 2名
N P O法人北海道学習障害児・者親の会クローバー 1名
カトリック円山教会 1名
他 2名
(1) 「就労について考え方」
(2) 「避難について考え方」

9. 2020（令和2）年度札幌市障害者週間記念事業実行委員会

※コロナ禍のため未実施

10. 障がい者コミュニケーション促進委員会

※コロナ禍のため未実施

11. その他

(1) 北海道札幌聾学校 学校評議員会

趣旨：校長の求めに応じて、学校の教育目標及び計画、教育活動の実施、学校と地域との連携の進め方その他、校長が行う学校運営に関し、一人一人がそれぞれ責任において、校長に対し意見を述べる。

日時：2021年2月9日(火) 9:30～11:00

場所：北海道札幌聾学校

出席者：公益社団法人札幌聴覚障害者協会理事長 渋谷雄幸

北区北地区民生委員・児童委員協議会(総務部長) 渥美健治

札幌大学女子短期大学部こども学科教授 阿部宏行

札幌聾学校同窓会長 杉本五郎

北海道札幌聾学校 P T A会長 及川和子

学校職員：校長 須見千慶、教頭 門眞義弘・飯出広行、

事務長 相場昌子

III 人事(採用・異動・退職)報告

【2020年4月1日～2021年3月31日】

①法人事務局
京野大樹 (2020年4月1日付任命 事務局長) 佐藤尚行 (2020年4月1日付身分変更 常勤嘱託職員→正職員)
②コミュニケーション支援課
川口裕美 (2020年4月6日付採用 非常勤嘱託職員) 齋藤逸子 (2021年1月31日付退職) 蛯山美和子 (2021年3月31日付退職)
③聴覚障害者支援センターほほえみ
螺良絵里 (2020年4月1日付身分変更 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員) 石川幸一 (2020年4月1日付身分変更 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員) 滝本清水 (2020年4月1日付異動 グループホーム) 小山内靖子 (2020年4月1日付異動 グループホーム) 南部眞祐美 (2020年11月1日付異動 ほほえみカフェ) 高山みゆき (2020年11月1日付異動 菓子工房ほほえみ) 小野郁美 (2021年3月31日付退職)
④さっぽろ聴覚障害者介護支援センター
齋藤杏奈 (2020年4月1日付採用 常勤嘱託職員・デイサービスほほえみ白石) 有山将大 (2020年4月1日付任命 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稻所長) 中村千恵 (2020年4月1日付異動 デイサービスほほえみ白石) 佐藤正昭 (2020年4月1日付異動 デイサービスほほえみ白石) 村上麻里 (2020年4月1日付異動 デイサービスほほえみ白石) 本間慎一 (2020年4月1日付兼務 デイサービスほほえみ白石) (2020年9月30日付兼務解除) 松本利香 (2020年4月1日付兼務 デイサービスほほえみ白石) (2020年9月30日付兼務解除) 吉田志津子 (2020年4月10日付退職) 神文 (2020年7月1日付異動 デイサービスほほえみ白石) 塚本純子 (2020年7月1日付異動 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稻) (2020年8月10日付退職) 樋口あやこ (2020年9月15日付復職)

※職員等体制について

(82名(常勤・アルバイト・非常勤契約含む) 2021年4月1日現在)

- ① 法人事務局（手話普及事業・情報支援事業）（11名）
事務局長1名、職員9名 計10名（正職員3名、常勤嘱託6名、非常勤嘱託1名）
聴能言語訓練指導員(非常勤契約) 1名
- ② コミュニケーション支援課（手話通訳派遣事業係（医療手話通訳者派遣事業含む）、養成事業係）（26名）
課長1名、係長2名、職員12名、アルバイト11名 計26名（正職員4名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託9名、アルバイト11名）
- ③ 聴覚障害者支援センターほほえみ（19名）
⑦聴覚障害者地域活動支援センター（ほほえみ西）
所長1名、職員2名 計3名（常勤嘱託2名、非常勤嘱託1名）
- ①ほほえみ作業所 就労継続支援B型事業（ほほえみ作業所）
所長1名、職員5名、アルバイト1名 計7名（正職員1名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託3名、アルバイト1名）
- ⑦ほほえみカフェ（就労継続支援B型事業（ほほえみカフェ、菓子工房ほほえみ、ほほえみ食堂）
センター長・店長（兼務）1名、職員6名、アルバイト1名 計8名（正職員1名、常勤嘱託3名、非常勤嘱託3名、アルバイト1名）
- ②共同生活援助事業（グループホームよつば・さくら）
職員3名 アルバイト1名 計4名（常勤嘱託2名、非常勤嘱託1名、アルバイト1名）
- ④ さっぽろ聴覚障害者介護支援センター（26名）
⑦小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稻
所長1名、職員10名 計11名（正職員5名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託4名）
- ①サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷
センター長・所長（兼務）1名、アルバイト8名 計9名（正職員1名、アルバイト8名）
- ⑦ほほえみの郷
施設長1名 計1名（常勤役員1名）
- ②デイサービスほほえみ白石
所長1名 職員4名 計5名（正職員1名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託2名）

別表【理事会出席表】

役職	氏名	1	2	3	4	5	6	7		書面
		4/ 19	中止	6/ 21	8/ 30	10/ 18	12/ 20	3/ 6	3/ 7	6/ 26
理事長	渋谷 雄幸	出	一	出	出	出	出	出	出	同意
副理事長	金原 浩之	出	一	出	出	出	出	出	出	同意
副理事長	宮内 博子	出	一	出	出	出	出	出	出	同意
常務理事	高嶋 正博	出	一	※出	出	出	出	出	出	同意
理事	中 和彦	出	一	出	出	出	出	出	出	同意
理事	福島 太郎	出	一	出	出	出	出	出	出	同意
理事	若浜ひろ子	出	一	出	出	出	出	欠	出	同意
理事	佐藤 正昭	出	一	出	出	出	出	出	出	同意
理事	野口 和伸	出	一	出	出	出	出	出	出	同意
理事	越智 誠	出	一	出	出	出	出	出	出	同意
理事	佐藤 英治	出	一	出	出	出	出	出	出	同意
理事	畠山 和子	出	一	出	出	出	出	出	出	同意
理事	京野 大樹	出	一	出	出	出	出	出	出	同意
理事	佐藤 尚行	出	一	出	出	出	出	出	出	同意
理事	福岡 静枝	出	一	出	出	出	出	出	出	同意
理事	森 恵子	出	一	出	出	出	出	出	出	同意
監事	東出 昇	出	一	出	欠	出	出	出	出	確認
監事	新田 由香	出	一	出	出	出	出	出	出	確認

出：出席・欠：欠席・※の印は遅参・早退